

理学部 理学科 4年生アンケートの集計と分析

このアンケートは、卒業を目前にひかえた理学部理学科4年生(2024年3月卒業生)が、本学部の教育システムである「一学科による教育プログラム制」に対してどのような意見をもち、どう評価しているのかを調べるために本学部独自に実施したものである。全対象学生からのアンケート回答回収を目指して各研究室にアンケート用紙必要部数を封筒に封入して配布し、以下提出期限までに教務担当事務まで提出依頼した。

提出期限: 2024年2月26日(月)

提出場所: 理学部 教務企画係 または 共通学科事務室

結果、158名から回答を得ることができた。回収率は94.0%であった。この報告書において回収したアンケートデータの集計とその分析を行った。

なお、卒業判定前にアンケートを実施したため未卒業生分も含めた集計となっている。

はじめに

2016年3月卒業生(2012年4月入学生)から卒業要件が変更されている。これ以降、2024年3月卒まで卒業要件の変更はないが、この変更がアンケート結果に影響を与えているかもしれないので、ここに変更点をまとめておく。

情報基礎 A, B に情報処理概論が加わり、教養教育の情報科目3単位が必修化された。

専門基礎科目の理学教養科目が教養教育の理系基礎科目に変更された。

必修外国語科目が10単位から8単位に変更された。

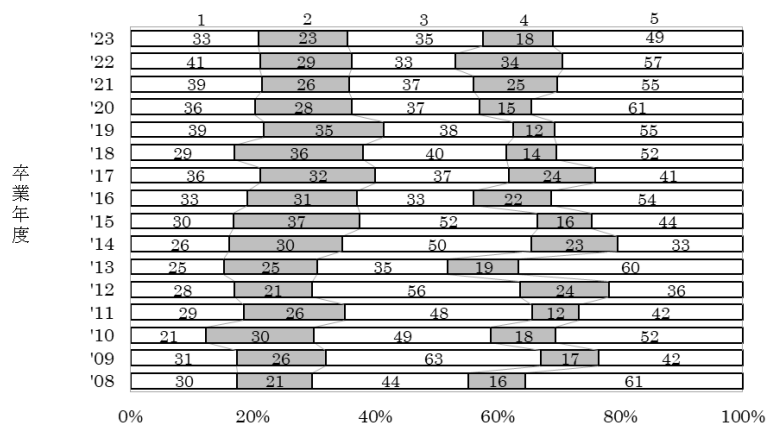
共通基礎科目以外の教養科目の必須単位も9単位から11単位に変更された。

これらに伴い、卒業研究の履修要件が理系基礎科目以外の教養科目について1単位増えた。

あなたのコースは何ですか

- 1. 数学 2. 物理学 3. 化学
- 4. 地球環境科学 5. 生物学

2020年度以降、数学は33~41人、物理学は23~29人、化学は33~37人、地球環境科学は15~34人、生物学は46~61人であり、地球環境科学は経年変動が大きい。2023年度は卒業生が168人であり、4年次生の1割程度が卒業できていない状況を改善する必要があると考えられる。



A. 入学時の志望理由について

(A1) 入学時に熊本大学理学部を選んだ理由を記述して下さい。

回答数（意見など）：153件

入学後にコースを選択できる一学科制に魅力を感じた（76人）や、熊本の地理的な位置（50人）、理学部に魅力を感じた（30人）などを挙げた学生が多い。また、成績やセンター試験の結果で決めた（42人）学生も多い。その他、高校教員など身近な人から勧められた（10人）や九州内の国立大学を選んだ（8人）などの理由は、九州地方を大きな意味での地元とする考えが根強いことと関係しているようである。一方、オープンキャンパスやSSHでの印象（各1人）が非常に少なく、これらの実施方法について再検討する必要がある。（注意：複数回答のため、153件は超えている）

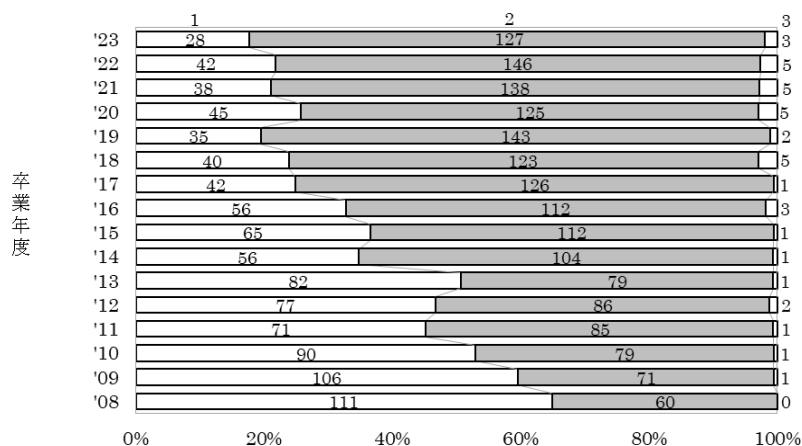
B. 教育システム、授業内容について

1年次理系基礎科目と2年次理学共通科目の教育内容について、お聞きします。

(B1) 1年次理系基礎科目の授業数は

1. 多い
2. 適当
3. 少ない

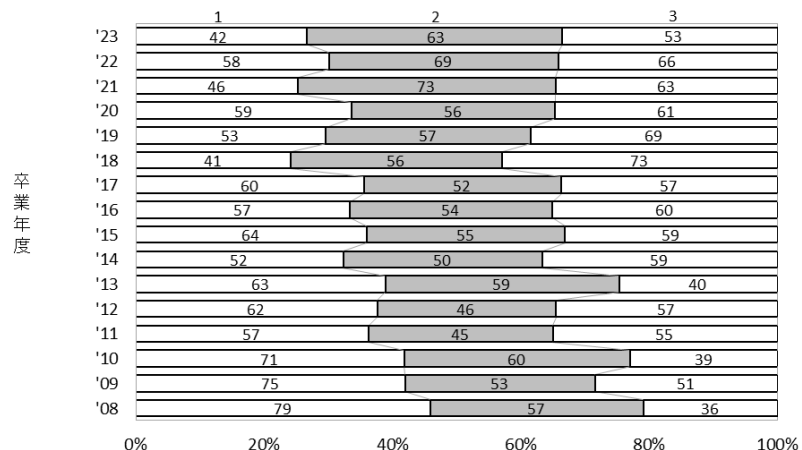
「多い」が徐々に減り、2017年度以降は約20%である。「適当」が70%以上に増えたのは、よい傾向である。



(B2) 1年次理系基礎科目において全ての科目を履修しなければならないことに関して

1. 負担に感じた
2. どちらとも言えない
3. 負担に感じなかった

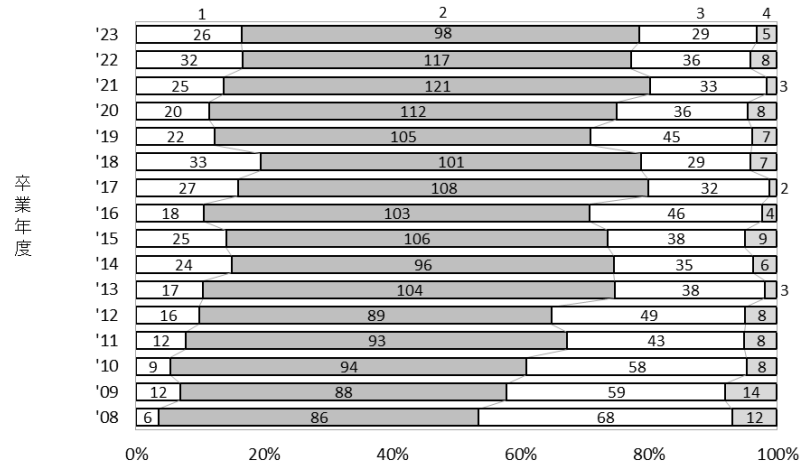
「負担に感じた」は徐々に減り、2018年度以降は20~30%となったのは、よい傾向である。「負担に感じなかった」は、2011年度以降は約30%である。



(B3) 1年次理系基礎科目において5分野全てを履修したことは有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

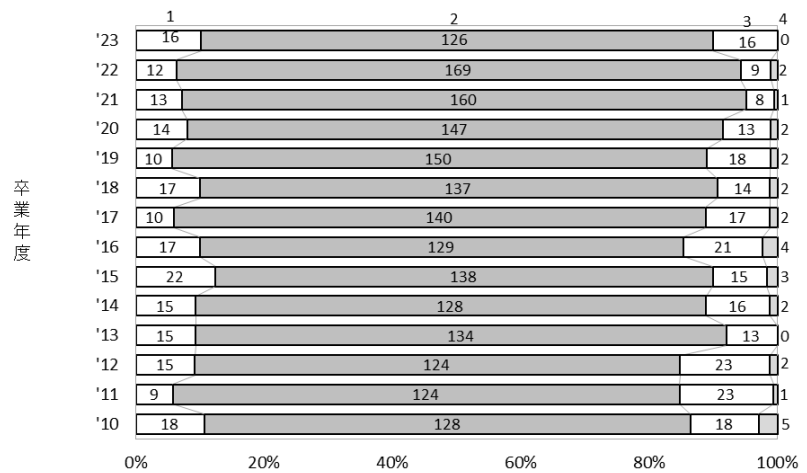
「非常に有益」と「有益」が徐々に増え2013年度以降は合わせて約80%を占めているのは、よい傾向である。



(B4) 1年次理系基礎科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

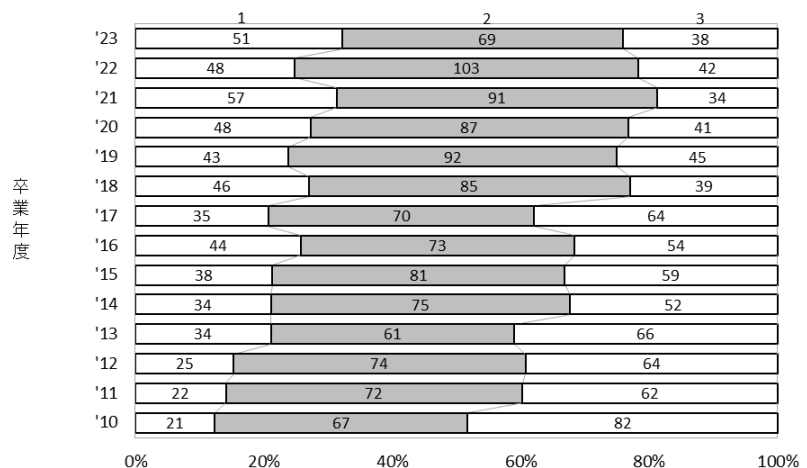
例年、「適当であった」が圧倒的に多く、約80%を占めている。



(B5) 1年次では、ゆとりを持って学べましたか。

1. ゆとりがあった
2. どちらも言えない
3. ゆとりがなかった

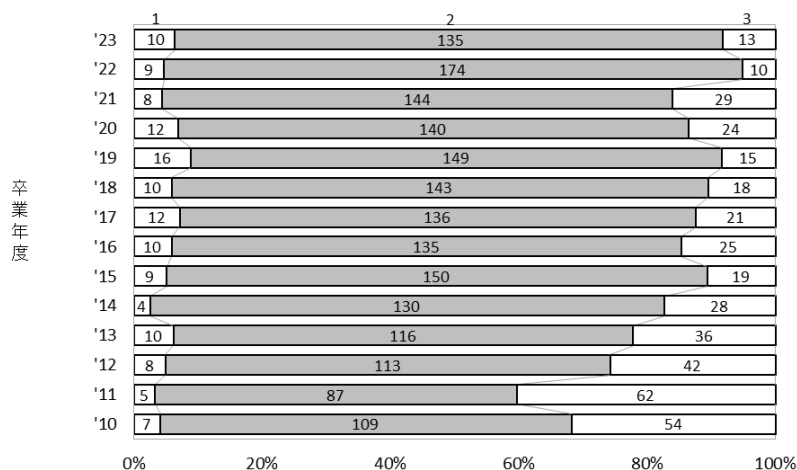
「ゆとりがあった」が徐々に増え、近年は約30%となった。反対に、「ゆとりがなかった」が徐々に減り、2018年度以降は約25%となった。これらは、よい傾向であるが、「どちらも言えない」が40~50%を占めており、最も多い。



(B6) 2年次理学共通科目の授業数は

1. 多い
2. 適当
3. 少ない

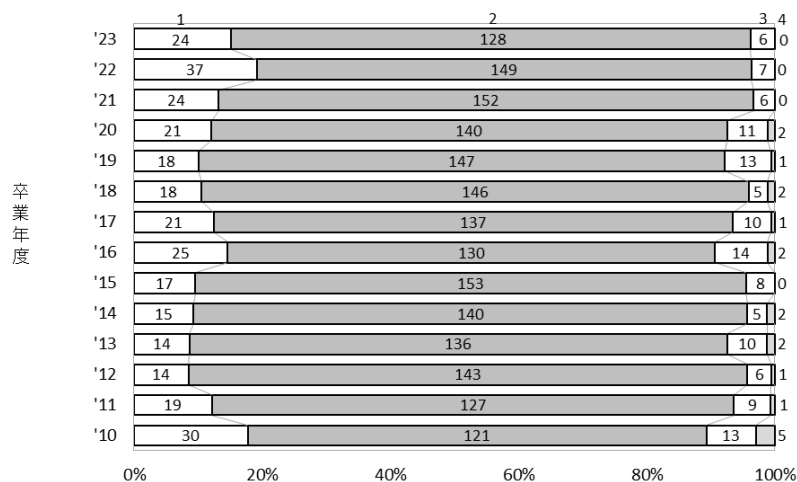
「適当」が徐々に増え、2014年度以降は約80%を占めている。反対に、「少ない」が20%より減っている。これらは、よい傾向である。



(B7) 2年次理学共通科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

例年、「適当」が圧倒的に多く、約80%を占めている。

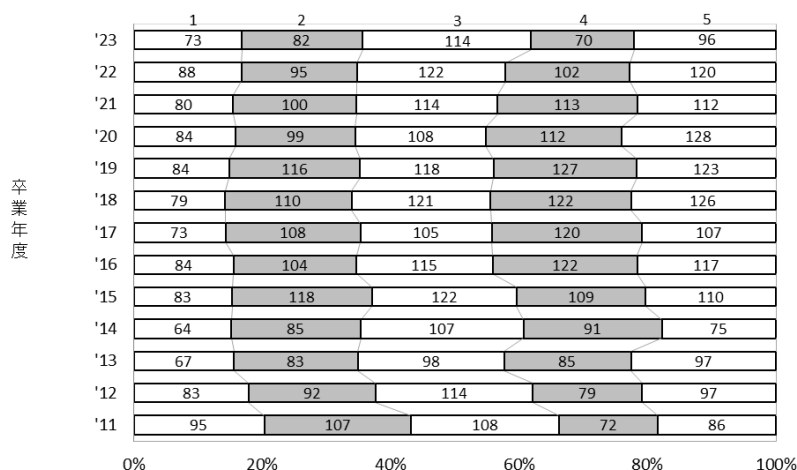


(B8) 2年次理学共通科目で履修した分野を選んで下さい。

ただし、情報処理概論と理系基礎科目の統計学Ⅰ、Ⅱは除きます。(複数選択可)

1. 数学
2. 物理
3. 化学
4. 地球
5. 生物

例年、各コースの科目が同程度履修されている。やや化学コース科目の履修者数が多いのは、入試科目として選択している学生が多いことが影響していると考えられる。

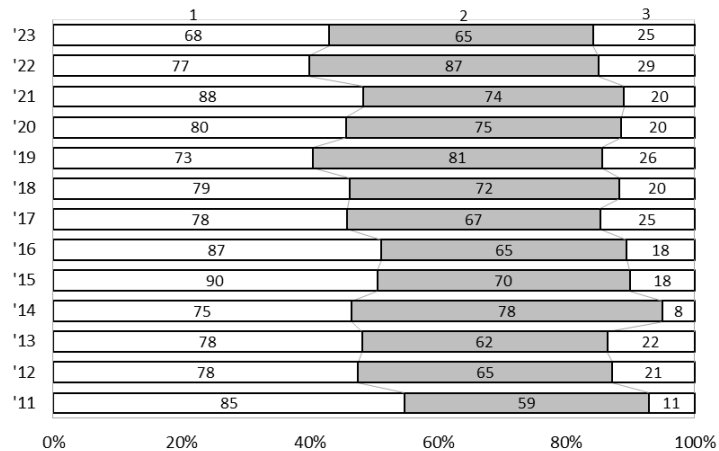


(B9) 2年次では、ゆとりを持って学べましたか。

1. ゆとりがあった
2. どちらも言えない
3. ゆとりがなかった

例年、「ゆとりがあった」が40～50%を占めている。1年次で「ゆとりがあった」は近年でも約30%であり（B5），2年次の方が「ゆとりがあった」と感じる学生が多い。配属希望コースを決心している学生の履修科目数が少ないことが影響していると考えられる。来年度以降、コース配属が2年次後期に移行することがどのように影響するかを調査する必要がある。

卒業年度

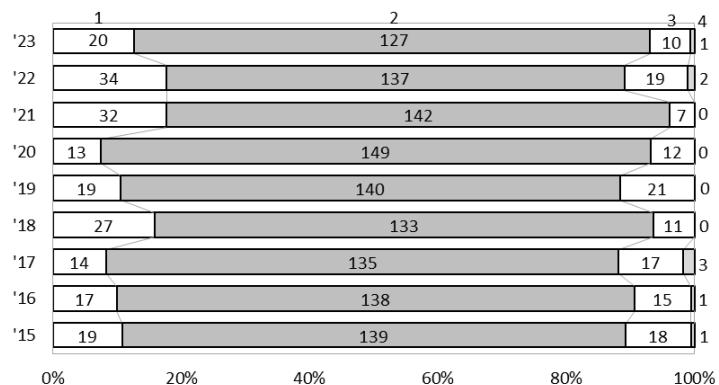


(B10) 2年次理学共通科目は、これまでの学修において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

例年、「有益」が圧倒的に多く、約80%を占めている。「非常に有益」も合わせると、約90%を占めている。

卒業年度



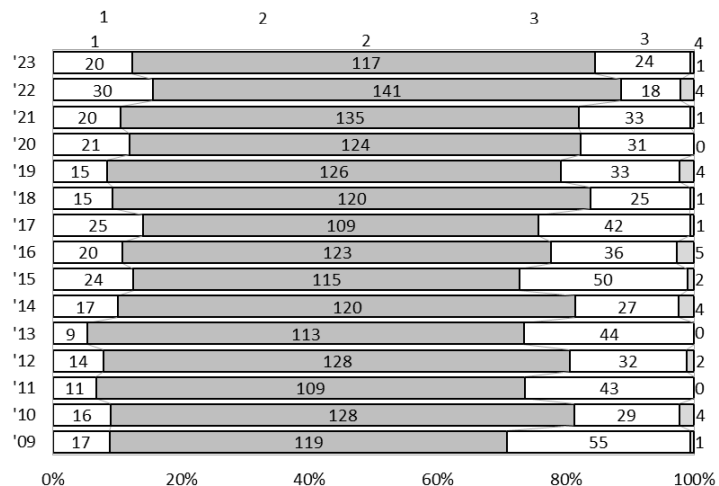
教養教育における科目についてお聞きします。

(B11) 理学部では卒業要件単位 124 単位の内、21 単位は理系基礎科目以外の教養教育の単位を取得する必要があります。負担に感じましたか。

1. 負担に感じた
2. どちらとも言えない
3. 負担に感じなかった

「負担に感じた」が徐々に減り、近年では15%以下となったのは、よい傾向である。例年、「負担に感じなかった」が最も多く、約50%を占めている。

卒業年度

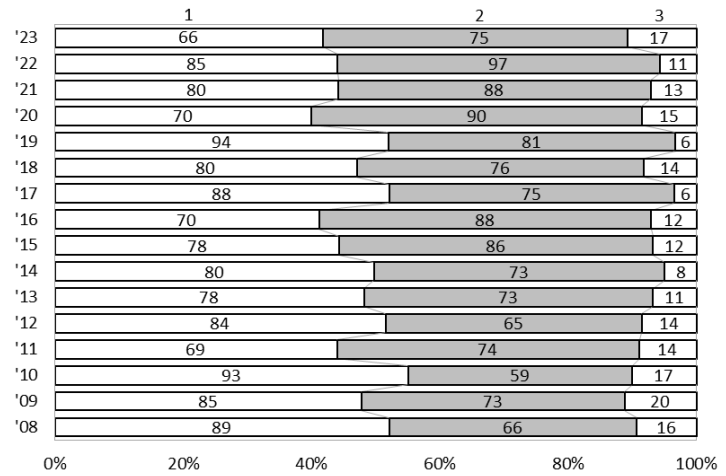


(B12) 情報基礎についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

例年、「満足するものであった」と「どちらとも言えない」が、ともに40～50%を占めている。「不満があった」は、10%より少ない。

卒業年度

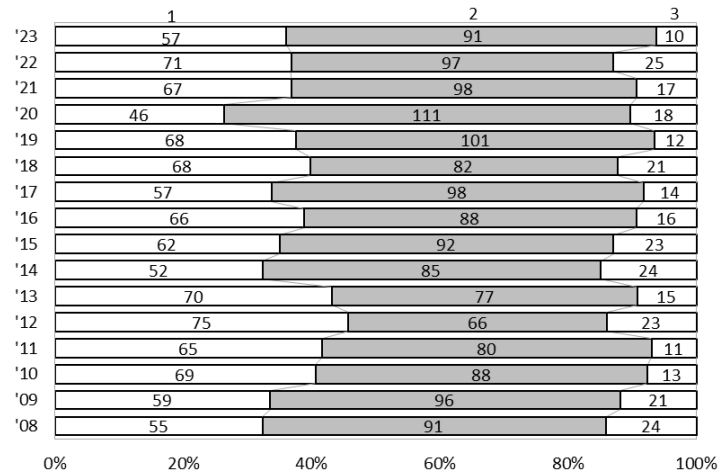


(B13) 1年次の既修外国語（英語）科目についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

例年、「満足するものであった」が約40%、「どちらとも言えない」が約50%を占めている。「不満があった」は、約10%と少ない。

卒業年度

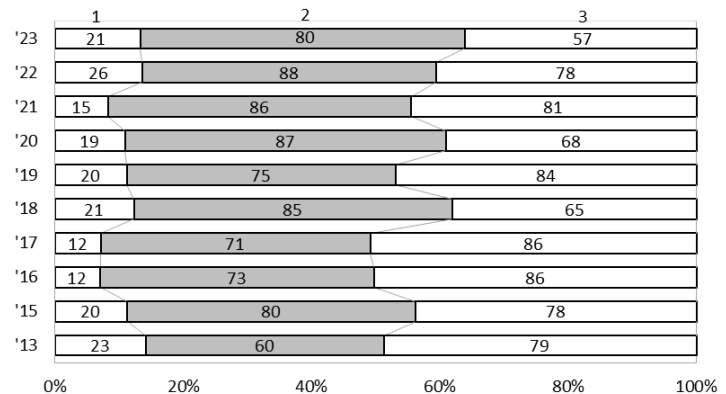


(B14) 1年次の既修外国語（英語）科目を履修してコミュニケーション能力が身に付きましたか。

1. 身に付いた
2. どちらとも言えない
3. 身に付かなかった

例年、「身に付いた」が約10%と少なく、「どちらとも言えない」と「身に付かなかった」が、どちらも40～50%を占めている。この科目のみでコミュニケーション能力を付けることは難しいことが分かる。

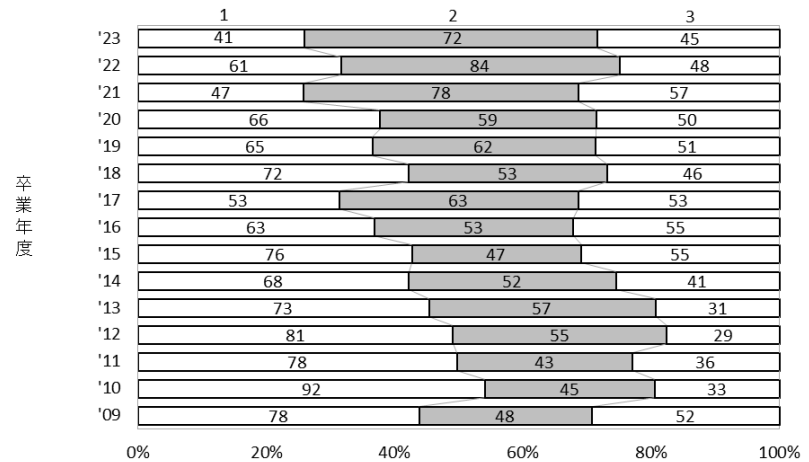
卒業年度



(B15) 自由選択外国語科目も含めて外国語科目の履修により異文化に対する理解が深まりましたか。

1. 深まった
2. どちらとも言えない
3. 深まらなかった

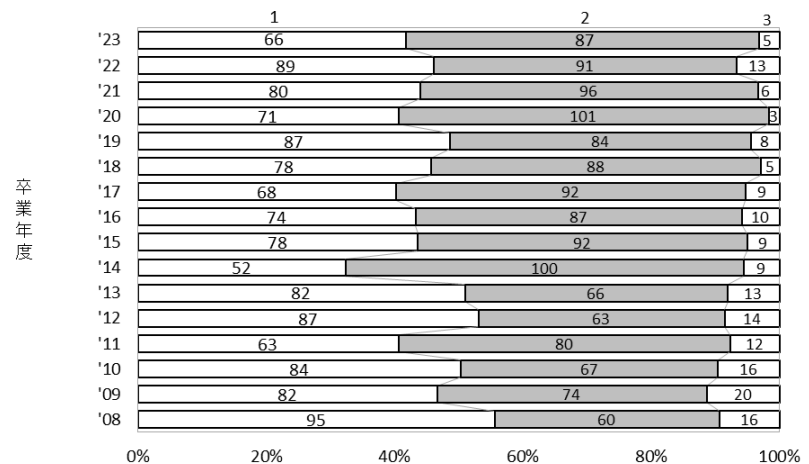
「深まった」が約30%まで減り、「どちらとも言えない」が約40%まで増えている。例年、「深まらなかった」が約30%あり、現状の外国語科目だけでは異文化の理解はあまり期待できず、(B37d)の結果も含めて考えると、外国語教育の改善が必要である。



(B16) その他の教養教育科目（現代教養科目・リベラルアーツ科目・キャリア科目・解放科目・Multidisciplinary Studies）についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

例年、「満足」と「どちらとも言えない」が多く、どちらも40~50%を占めている。



(B17) 教養教育科目（現代教養科目・リベラルアーツ科目・キャリア科目・解放科目・Multidisciplinary Studies）でどの授業を履修するかをどのように決めましたか。

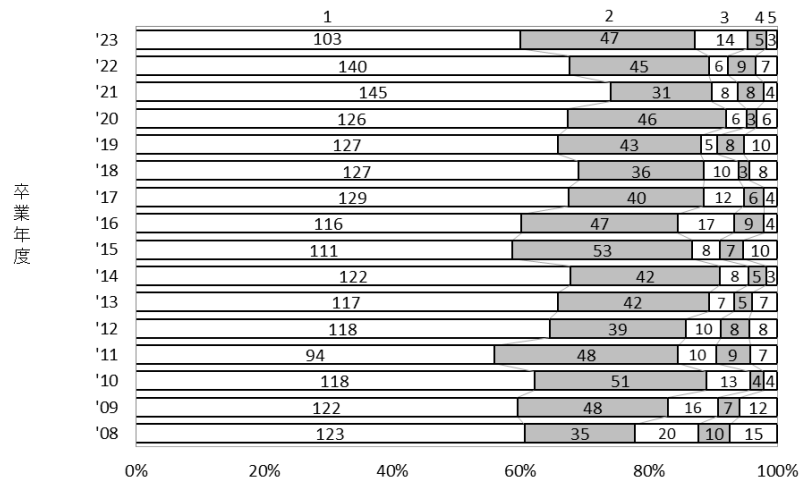
1. 授業科目間の関係を考えて決めた
2. 興味があるものを選んで決めた
3. 単位がとりやすいものを選んだ
4. その他

例年、「興味があるもの」が約70%を占めている。しかし、近年でも「単位を取りやすいもの」が10~20%あり、改善の余地はある。

(B18) 教養教育で履修した科目の全てについてどう思いますか。 (複数選択可)

1. 専門以外の授業が受けられて非常にためになった
2. 教養教育科目 (教養科目等) は科目数が多すぎてどれを選べばよいかわからなかった
3. もっと高度な内容を取り扱ってほしかった
4. 高校と同程度で意味が無かった
5. その他

例年、「非常にためになった」が約60%を占めており、充実した教養教育を受けていることが分かる。



(B19) 教養教育において特に印象に残った授業科目あるいは授業内容を挙げてください。

回答数 (授業科目または授業内容) : 55件

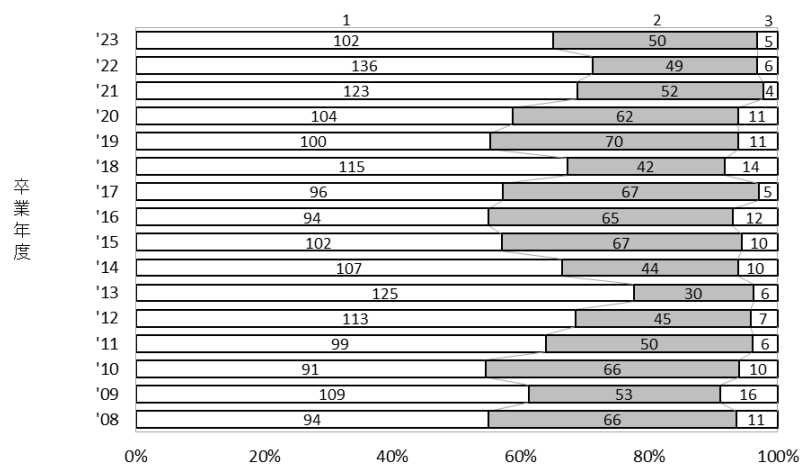
理学以外にも幅広い内容の教養科目が挙げられており、学生たちが知的刺激を受けていることが分かる。

履修指導および3年次からのコース選択についてお聞きします。

(B20) コース選択のために提供された情報 (学生便覧, コース説明会, 推奨科目など) は

1. 十分である
2. もう少し多い方がよい
3. 不十分である

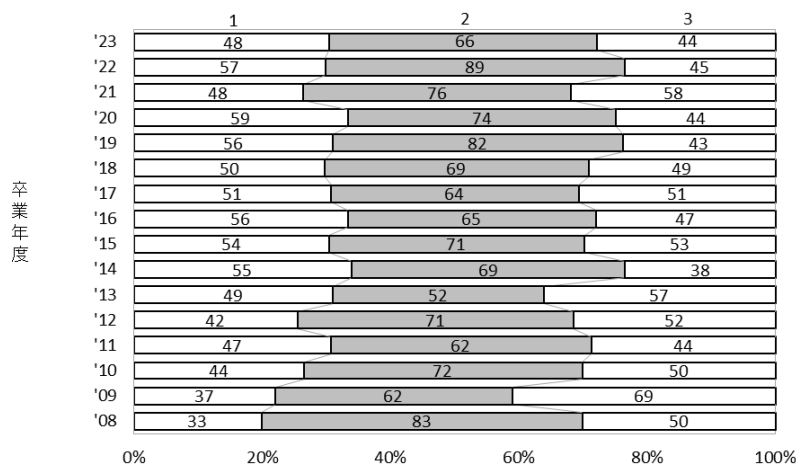
例年、「十分」が60~70%を占めているが、「もう少し多い方がよい」と「不十分」が合わせて30~40%ある。コース選択は熊本大学理学部の大きな特徴であり、必要な情報を適宜提供することが望まれる。



(B21) 2年次までのチューター制度は役に立ちましたか.

1. 助言をもらったり相談にのってもらい役にたった
2. どちらとも言えない
3. 提供された情報で十分であり、チューターとの面談は必要なかった

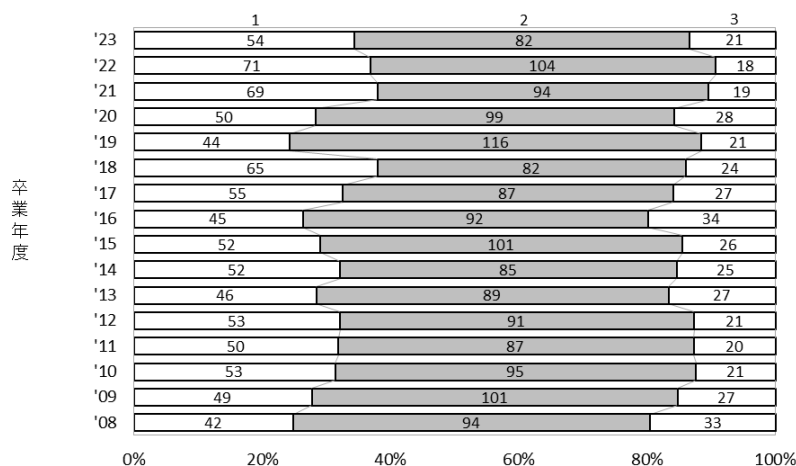
例年、「役にたった」と「面談は必要なかった」がそれぞれ約30%であり、「どちらとも言えない」が最も多い。(B20, B25)とも関連して、学生のニーズを基にチューター制度の見直しが必要である。



(B22) コース選択の際に、1年次理系基礎科目、2年次理学共通科目の教育内容は影響が

1. 非常にあった
2. 少しはあった
3. まったくなかった

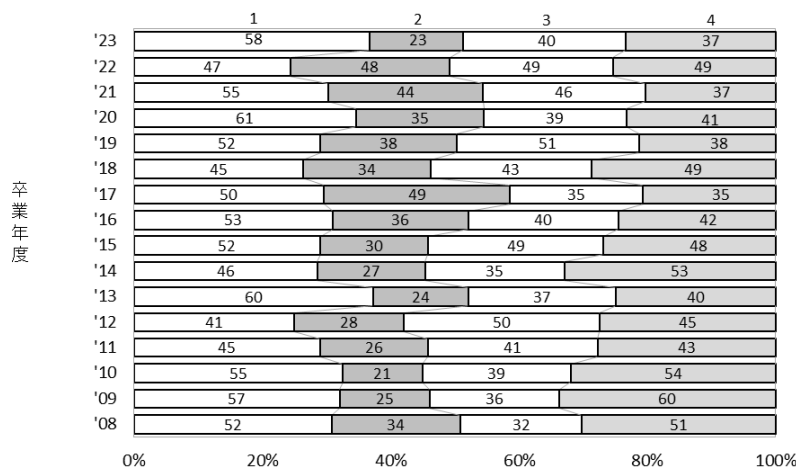
例年、「非常にあった」と「少しはあった」を合わせて、約90%を占めている。(B25)を見ても分かるように、これらの科目がコース選択に影響があることを示している。



(B23) コースはいつ決めましたか.

1. 入学前
2. 1年終了時
3. 2年前期終了時
4. 2年後期

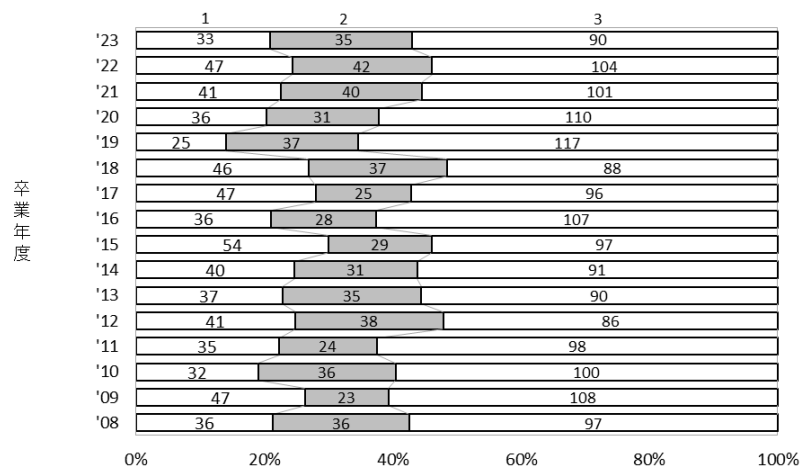
例年、「入学前」が約30%あり、多くの学生が入学後にコースを決めていることがわかる。「2年後期」が20%以上いることも軽視できない。



(B24) 入学時点で希望していたコースと最終的に選択したコースとで変更はありますか.

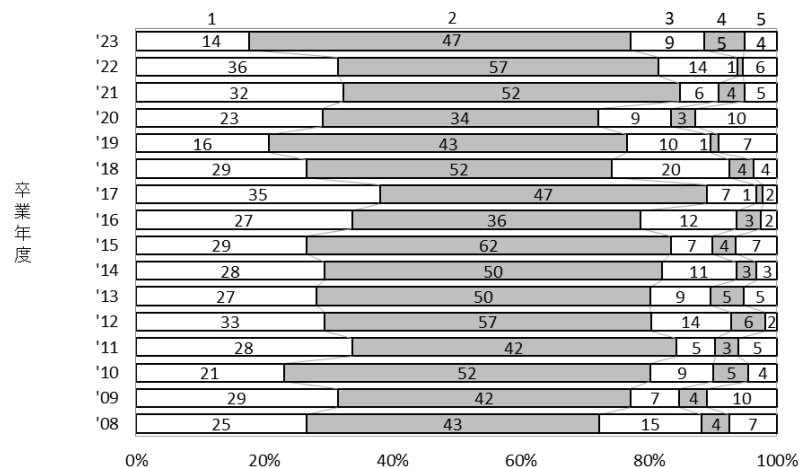
1. 変更した
2. 入学時点では特定の希望はなかった
3. 変更しなかった

例年、「変更した」が約20%に対して、「変更しなかった」が約60%と多い。多くの学生が入学時点で希望していたコースに進むことが分かる。



(B25) 前問で 1. 変更した あるいは 2. 入学時点では特定の希望はなかった を選んだ方にお聞きします。コースを変更した理由あるいは決めるときに考慮した事項は何ですか。(複数回答可)

1. 1年次理系基礎科目を受講して、コースを変更あるいは決めた
2. 2年次理学共通科目を受講して、コースを変更あるいは決めた
3. コース説明会を聞いて、コースを変更あるいは決めた
4. チューターとの相談を通して、コースを変更 あるいは決めた
5. その他 (回答: 5件)



例年、「1年次」が約30%、「2年次」が約50%を占めている。受講科目によってコースを決めた学生が多く、これらの科目の重要性が認識されるべきである。反対に、「コース説明会」と「チューター」は非常に少なく、コース選択にほとんど影響を与えないことが分かる。

(B26) コース説明会の時期はいつがよいですか。現在は 1 年次の後学期開始時期に開催していますが、回数や時期に関して意見があれば自由に記述して下さい。

回答数 (回数や時期に関して): 39件

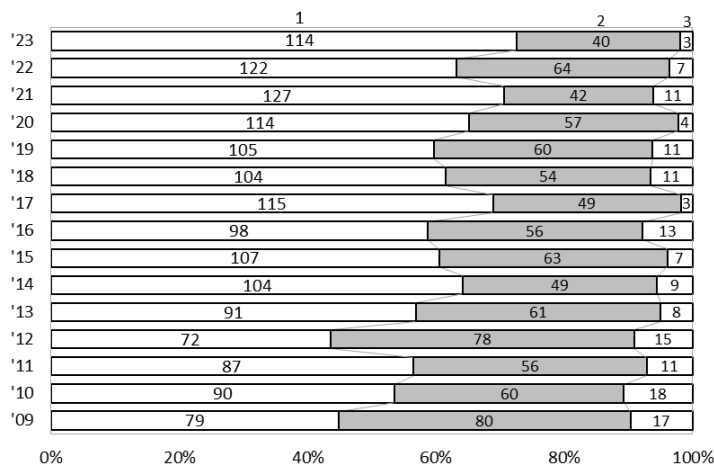
現在のままで良いとする意見が多かったが、説明の機会を増やして欲しいという意見もあった。コース選択に必要な情報を、適切な時期に提供するべきである。

(B27) 現在、3年進級時にコースを選択していますが、今かえりみていつがよかったと思いますか。

1. いまのまま (3年進級時)
2. 2年後期から
3. その他

「いまのまま (3年進級時)」が徐々に増え、近年は約70%を占めている。反対に、「2年後期から」が徐々に減って、約30%となった。来年度からの2年次後期への移行がどのように影響するかを追跡調査することが肝要である。

卒業年度



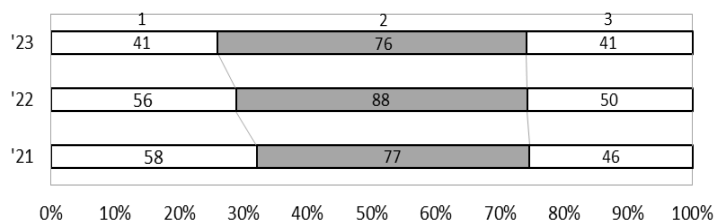
3. 4年次の理学専門科目 (卒業研究を除く) の教育内容についてお聞きします。

(B28) 2年次理系実用英語について積極的に取り組みましたか？

1. はい
2. どちらともいえない
3. いいえ

例年、「はい」が約30%、「いいえ」が約25%である。「どちらともいえない」が40~50%と最も多く、あまり積極的ではないことが分かる。

卒業年度

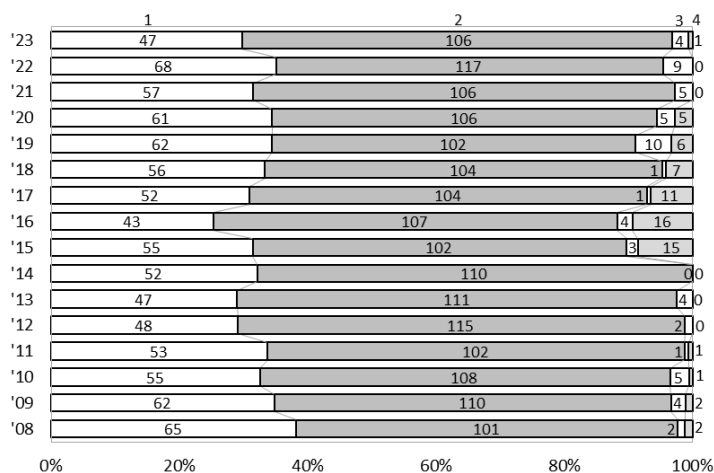


(B29) 理学専門科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

例年、「難しかった」が約30%あるが、「適当であった」が60~70%を占めている。

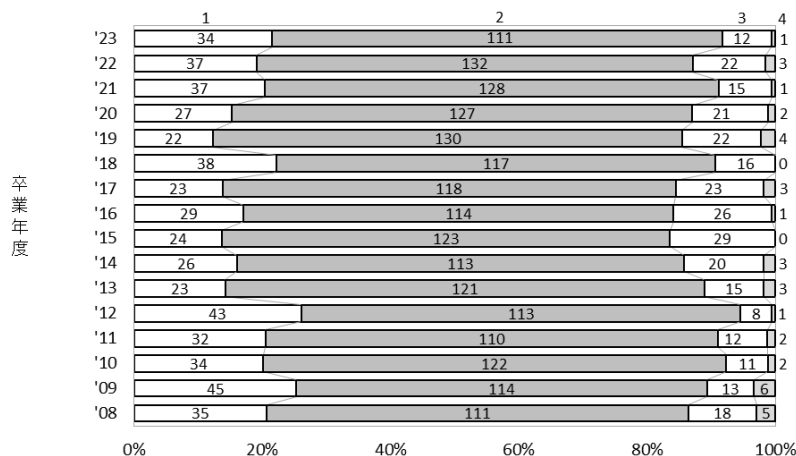
卒業年度



(B30) 1年次理系基礎科目，2年次理学共通科目（理系実用英語を除く）の教育内容は関連する理学専門科目を受講する上で有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

例年，「非常に有益であった」と「有益であった」を合わせて，80%以上を占めている．有益な講義が行われていることが分かる．



(B31) 各コースの講義科目およびその内容について意見があれば自由にお書き下さい．また，新たに開講してもらいたい科目があれば，記述して下さい．

回答数（意見や授業科目など）： 15 件

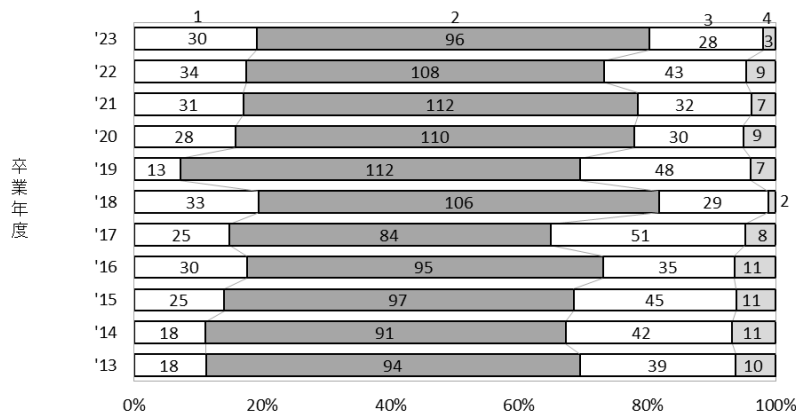
専門科目の開講時期を早めてほしいとの意見が散見される．来年度以降のカリキュラム変更により，専門科目の早期開講が進められるため，その影響の追跡調査が必要である．

卒業研究の教育内容についてお聞きします．

(B32) 理系基礎科目の教育内容は卒業研究において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

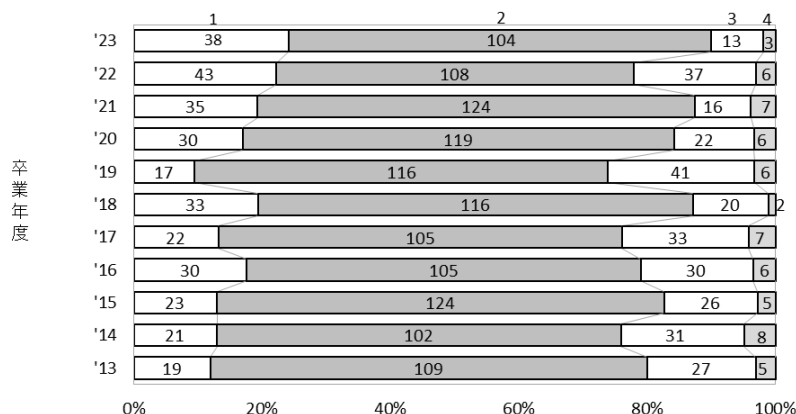
例年，「非常に有益だった」と「有益だった」を合わせて，70～80%を占めている．理系基礎科目は，卒業研究の基礎として有益と考えられる．



(B33) 理学共通科目の教育内容は卒業研究において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

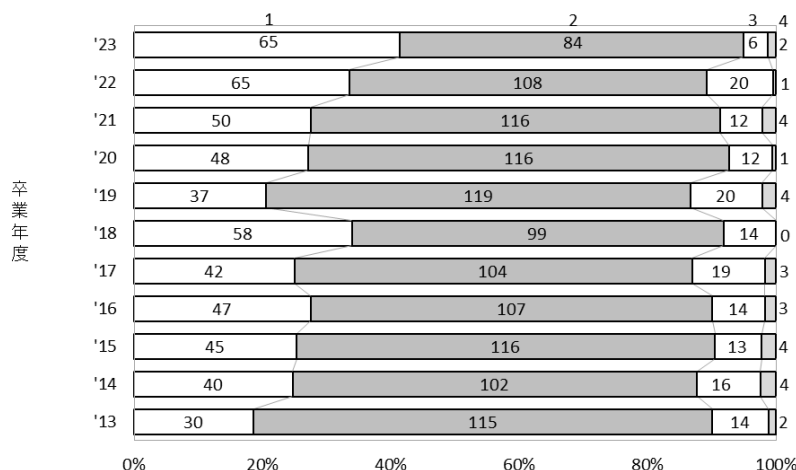
例年、「非常に有益だった」と「有益だった」を合わせて、約80%を占めている。理学共通科目は、卒業研究の基礎として有益と考えられる。



(B34) 3年次の理学専門科目は、卒業研究において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

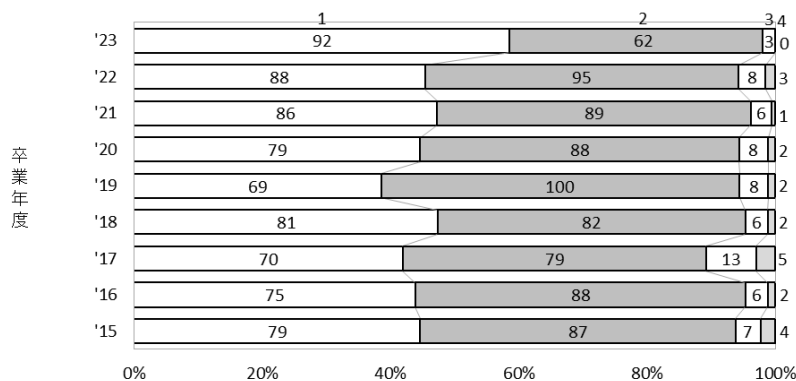
「非常に有益だった」が徐々に増え、「有益だった」も合わせて約90%を占めている。理系基礎科目 (B32) や理系共通科目 (B33) よりも多いことから、卒業研究においては3年次の理学専門科目の重要性が示された。



(B35) 卒業研究そのものは、あなたにとって有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

例年、「非常に有益だった」が約50%、「有益だった」も合わせると90%以上を占めている。卒業研究の意義が、よく理解されていることがわかる。

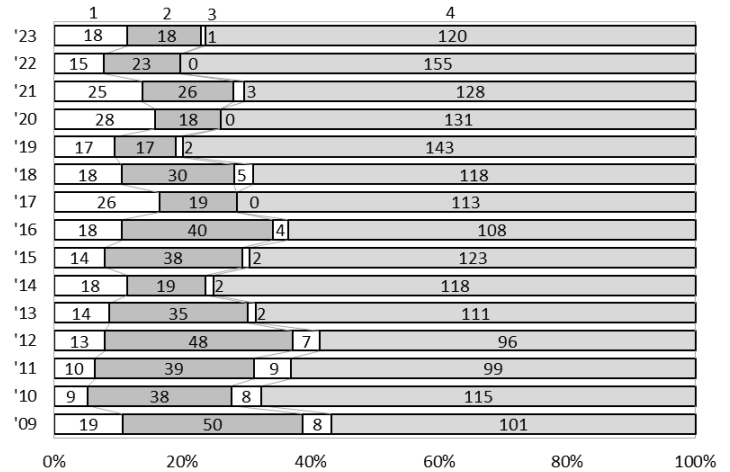


(B36) 教員免許を取得予定ですか。

1. 数学だけの教員免許を取得する
2. 理科だけの教員免許を取得する
3. 数学と理科の両方の教員免許を取得する
4. 教員免許は取得しない

2016年までは「理科だけ」が多かったが、それ以降は「数学だけ」と「理科だけ」が均衡している。教員免許を取得予定（1～3）は2009年の約40%から近年は約20%まで減っており、近年は人数も少ない。

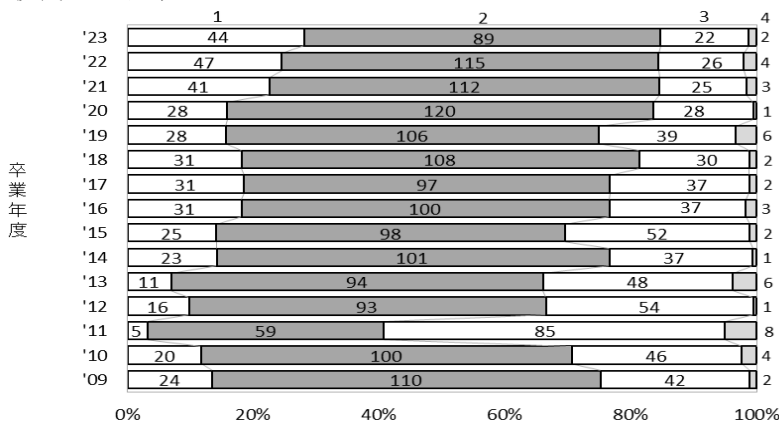
卒業年度



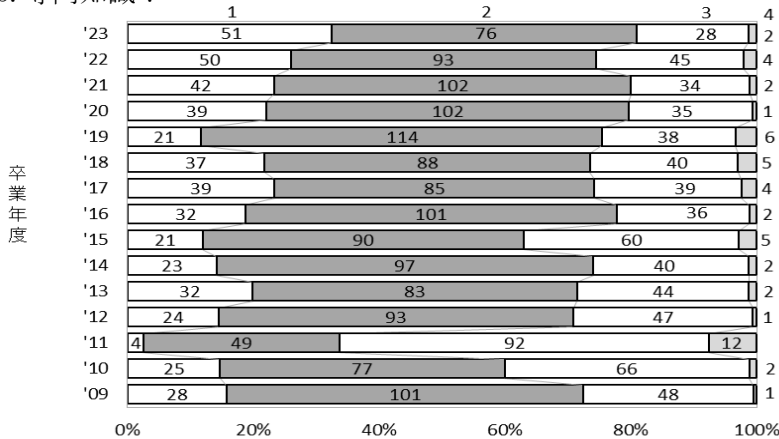
(B37) 4年間の履修を通してどのような力が身についたと思いますか。それぞれの項目に関して、次の4段階で回答してください。

1. よく身に付いた
2. ある程度身に付いた
3. もっと身に付けたかった
4. 全く身につかなかった

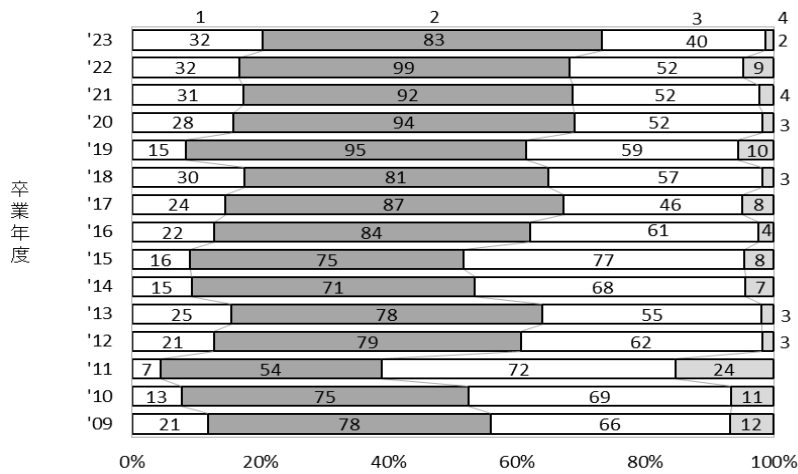
a. 教養・基礎学力：



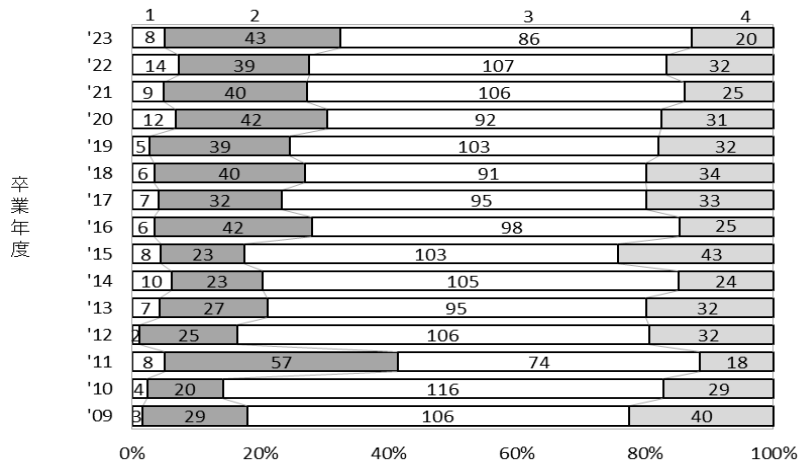
b. 専門知識：



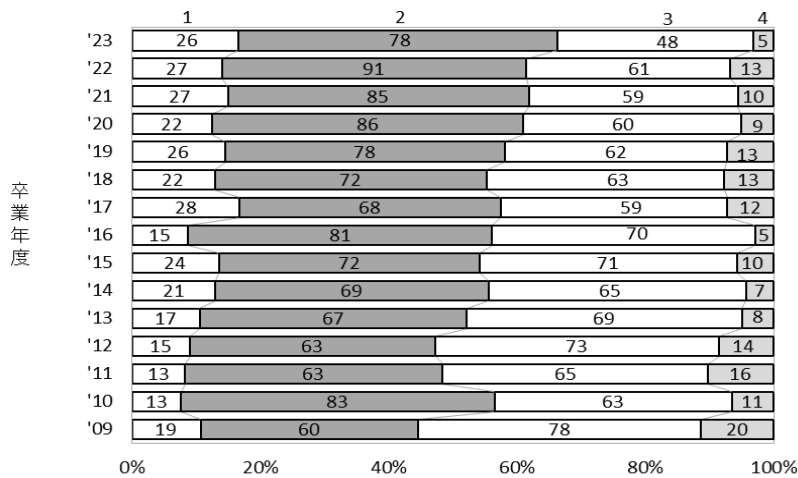
c. 技術・技能：



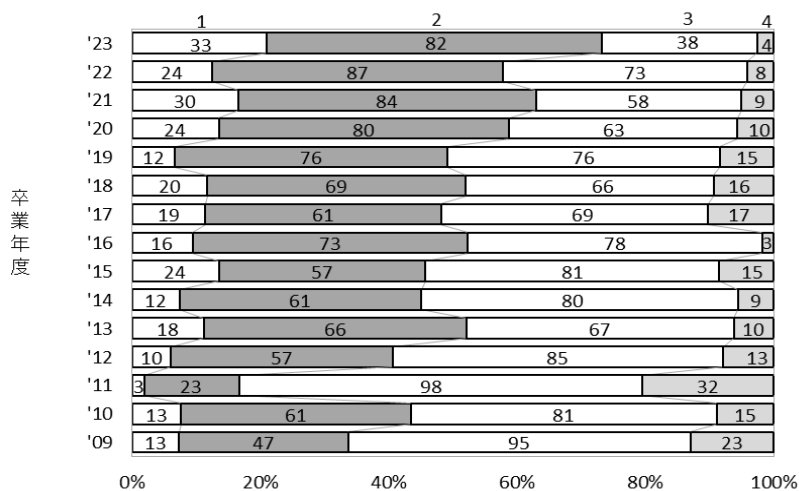
d. 英語を含めた外国語運用力：



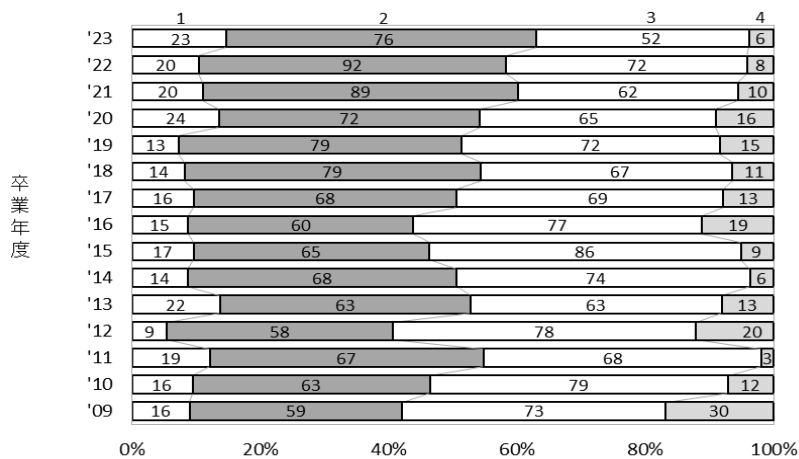
e. 一般的なコミュニケーション力：



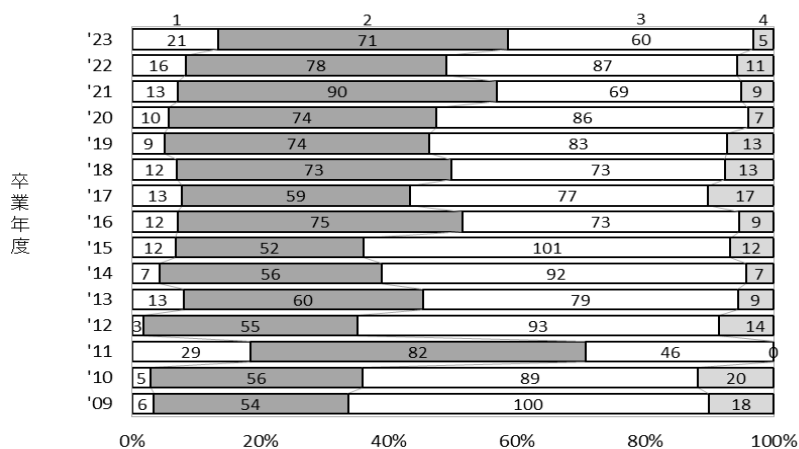
f. プレゼンテーション力 :



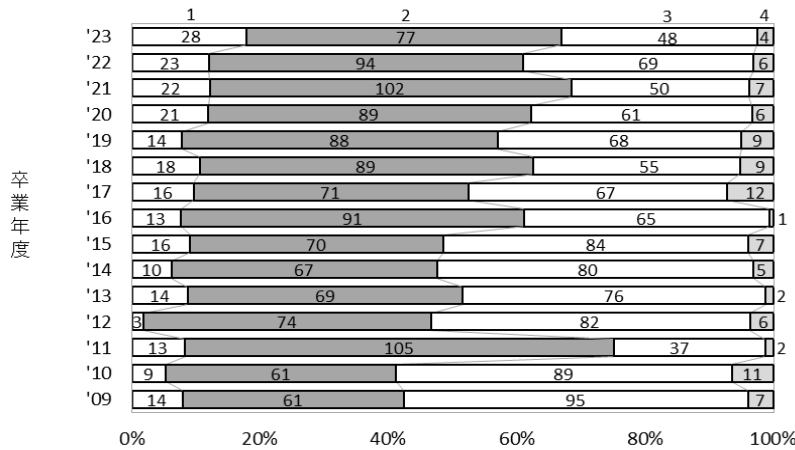
g. IT リテラシー・コンピュータ操作能力 :



h. 独創性・発想力 :



i. 課題発見・解決力：

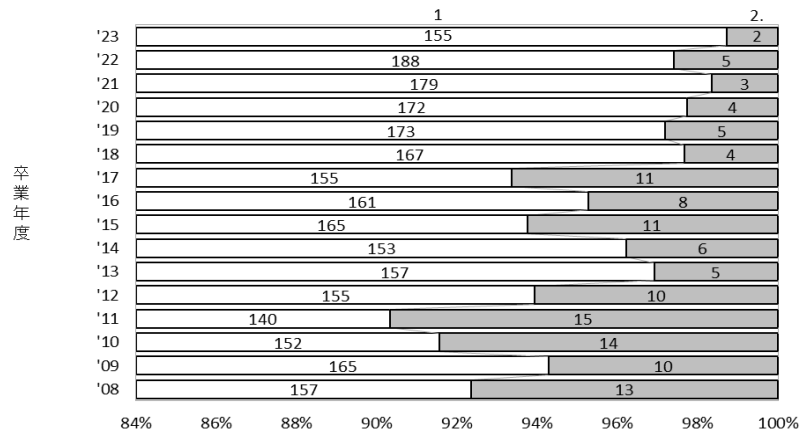


教養や専門知識が「よく身に付いた」と「ある程度身に付いた」は徐々に増え、近年は合わせて約70%を占めている。一方で、英語を含めた外国語運用力は、「もっと身につけたかった」が約60%を占めている。学部として英語教育の改善に努める必要がある。

(B38)今かえりみて、選択したコースは自分にとってよかったとおもいますか。

1. 思う
2. 思わない(理由：3件)

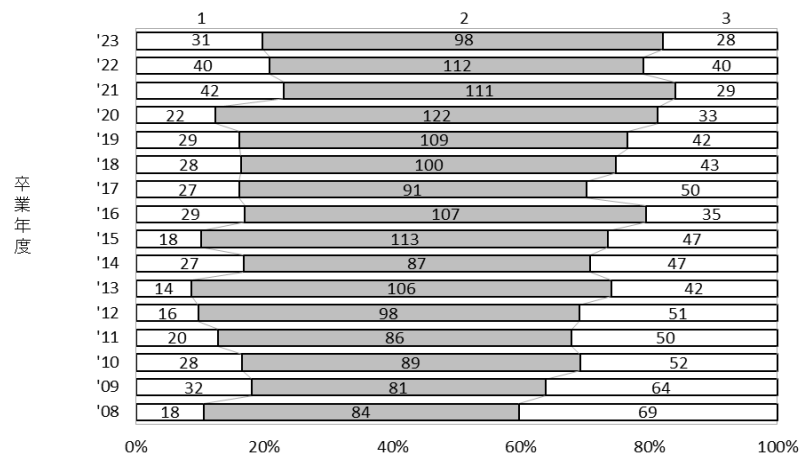
例年、「思う」が90%以上を占めており、近年は98%を超えている。自分が選択したコースに満足していることが分かる。一方で、拘束時間や就職との関係を指摘するコメントが、少数ではあるが見受けられた。



(B39) 4年間の大学生活において、授業に関すること以外で、課題を見つけて自主的に学びましたか。

1. よくした
2. 時々した
3. ほとんどしなかった

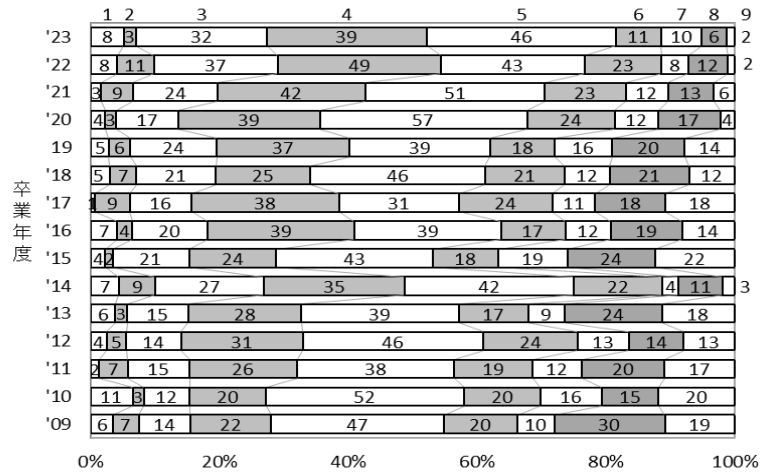
「よくした」と「時々した」が徐々に増え、近年は合わせて約80%を占めている。自主性がつくのは、よい傾向である。



(B40) 1年次から3年次の間で、講義時間外での学習時間の平均は1週間で何時間ぐらいになりますか。

- 1. 21 時間以上
- 2. 16~20 時間
- 3. 10~15 時間
- 4. 6~9 時間
- 5. 2~5 時間
- 6. 2 時間
- 7. 1 時間
- 8. 1 時間未満
- 9. 全くしない

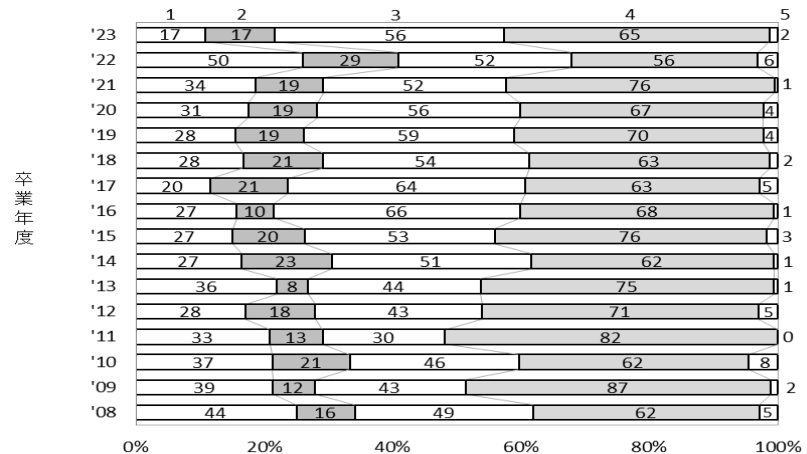
「2時間」以上（1~5）が徐々に増えており、近年は約80%近くを占めている。教養教育から専門教育まで含まれているため、詳細は分からない。



(B41) 4 年間で勉強意欲が最も上がったのはどの時期ですか。

- 1. 1 年次
- 2. 2 年次
- 3. 3 年次
- 4. 4 年次
- 5. その他

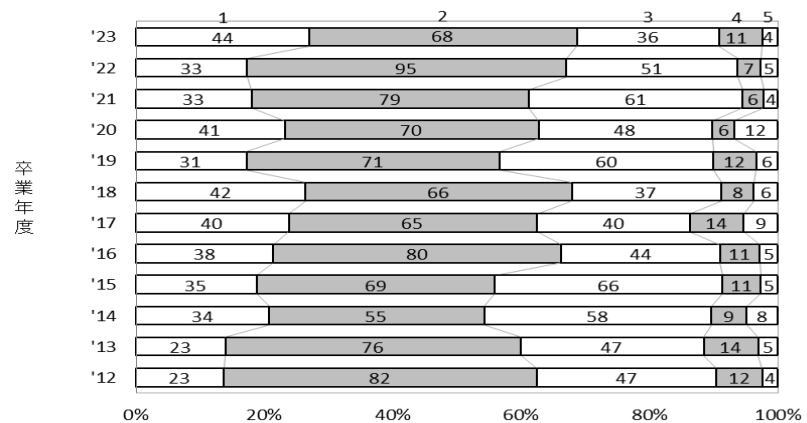
例年、卒業研究を行う「4年次」が選ばれるのは当然である。2023年度卒業生はコロナ禍でほぼ遠隔授業のみであった1, 2年次が他年度卒業生と比べても大幅に低い傾向にある。



(B42) 今かえりみて、学部の4年間で、いつの時期にもっと学修しておけば良かったと思いますか。

- 1. 1 年次
- 2. 2 年次
- 3. 3 年次
- 4. 4 年次
- 5. その他

例年、「2年次」が40~50%と最も多い。(B9)の2年次にゆとりがあったことと関連していると考えられる。来年度以降の新カリキュラムによる改善が期待される。

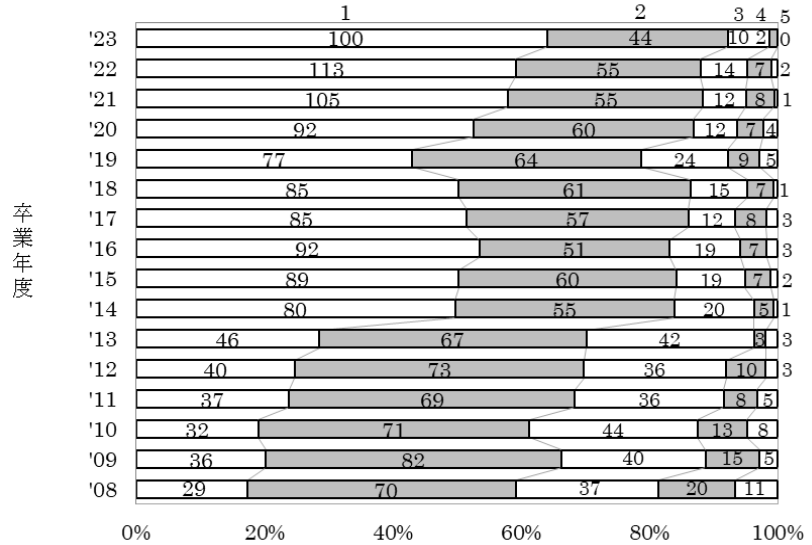


コース制全般に関してお聞きします。

(B43) コース制に対して満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足

2014年度以降は「満足」が増え、「どちらかといえば満足」と合わせて80%以上を占めるようになり、コース制の評価が高まっている。



(B44) コース制に対して意見があれば自由に記述して下さい。

回答数 (意見など) : 15 件

コース制に満足しているコメントが多く、反対意見は少ない。来年度以降の新カリキュラム (2年次後期コース配属) で卒業する学生の意見が重要になる。

C. 卒業後の進路について

(C1) あなたの4月以降の進路は何ですか。

[大学院進学]

1. 熊本大学
2. 他の大学

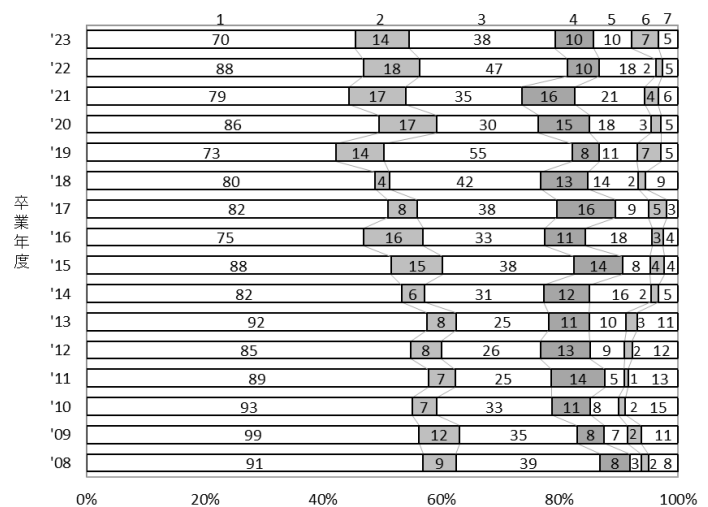
[就職] 3. 民間企業

4. 教職
(非常勤および臨時採用を含む)

5. 公務員

6. その他の就職先

7. その他 (進学・就職以外回答 : 11件)

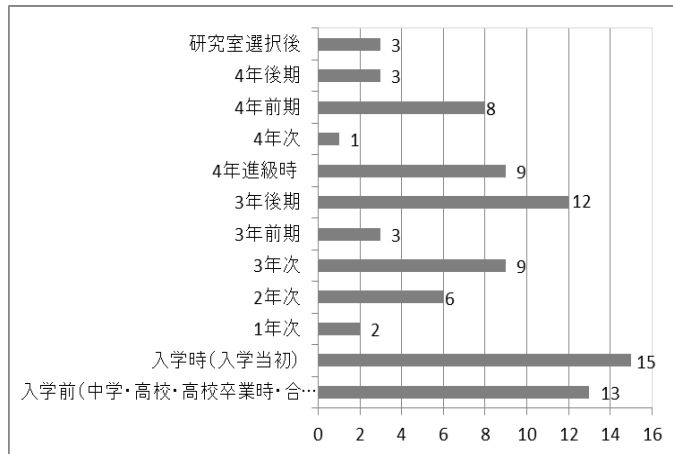


大学院進学者は徐々に減っており、2016年度以降は約50%である。大学院定員に満たない状態であり、問題である。学部卒業と大学院修了の進路情報等の違いや経済的な支援について、3年次後期まで (C2) に周知する必要があると思われる。

(C2) 大学院に進学する人にお聞きします。大学院進学をいつ決めましたか。

回答数 (時期) : 84 件

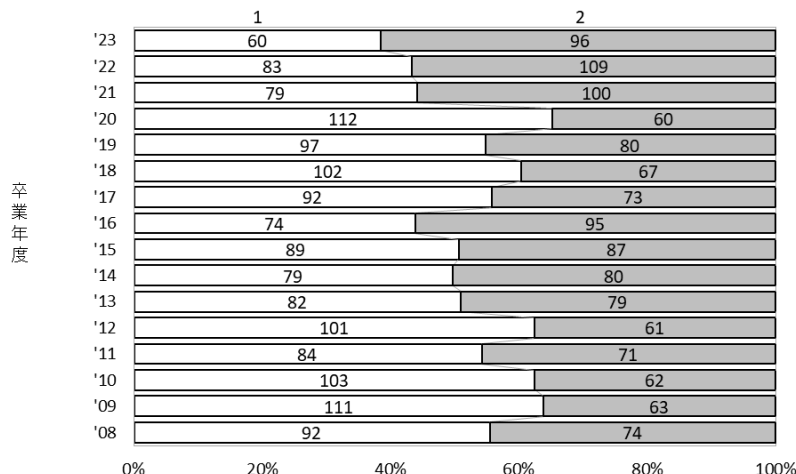
入学前や入学時から決めている学生が多い。その他には、3年後期や4年進級時も多く、専門教育に触れることで大学院進学を決意したと考えられる。



(C3) 3年次に理学部が開催している進路説明会には出席しましたか。

1. はい
2. いいえ

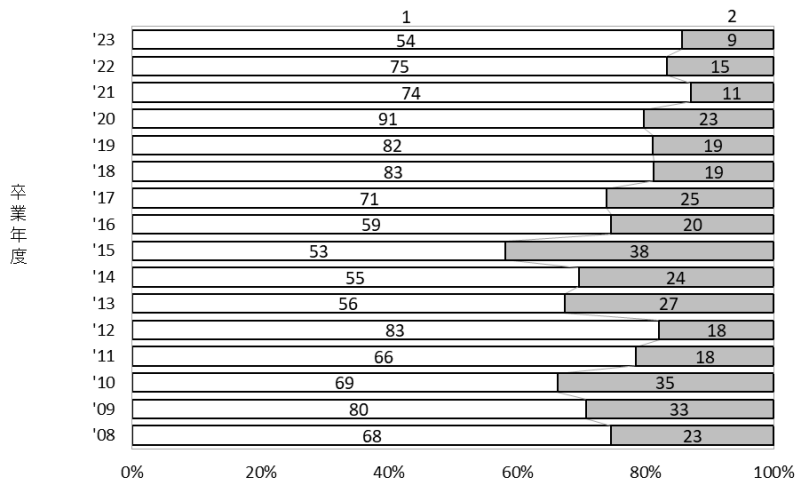
「はい」が減っており、近年では約40%である。もっと周知すべきである。



(C4) 上記の進路説明会に出席した方にお聞きします。役立ちましたか。

1. はい
2. いいえ

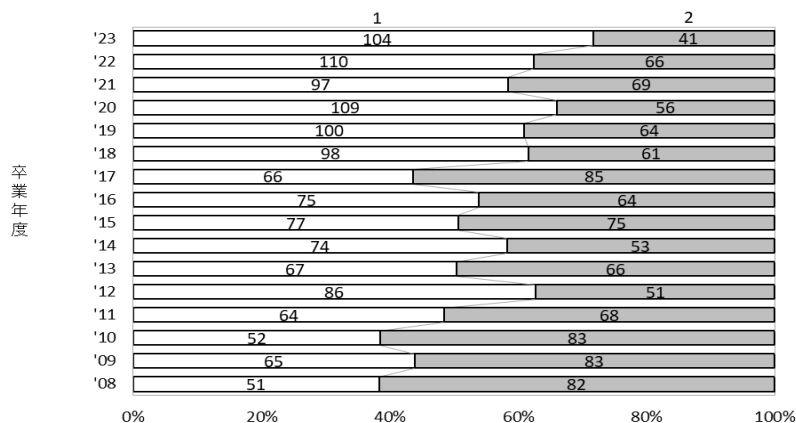
「はい」が増えており、近年では80%を超えている。進路説明会は役に立っていることが分かる。



(C5) 就職に関する理学部からの情報提供は十分でしたか.

1. はい
2. いいえ

「はい」が徐々に増え、近年は60~70%を占めている。しかし、近年でも「いいえ」は約30%ある。人材不足によって、企業の求人方法は変わる可能性があるため、今後の動向を注視する必要がある。

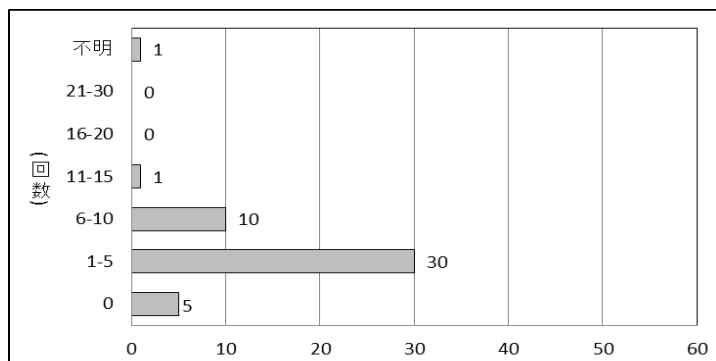


就職活動をした人にお聞きします。就職活動をしなかった人は(C10)に進んで下さい。

(C6) 就職活動（面接や企業訪問など）のため、企業を何回訪問しましたか。

回答数（訪問回数）： 47件

「1-5」回が30人と最も多い。多くても「11-15」回である。



(C7) 企業への就職活動をおこなった期間はいつですか。

回答数： 69件

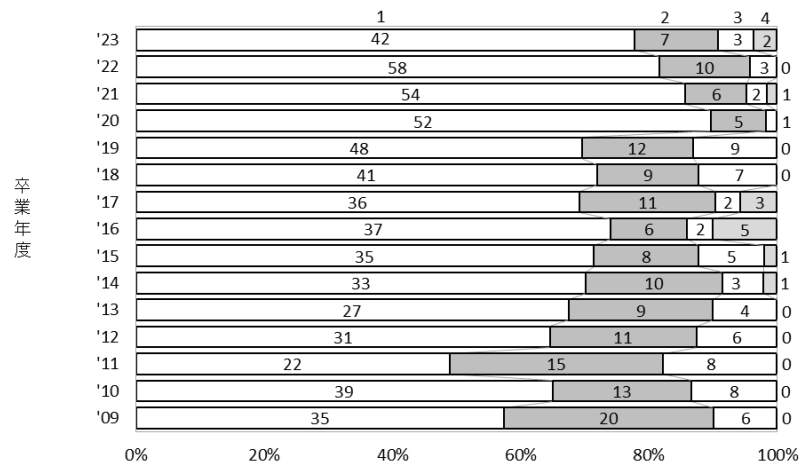
2022年12月～2023年4月（3年生後半）に開始し、2023年5月～9月（4年生前半）に終了した学生が多い。

開始時期	人数	終了時期	人数
2021.03	1	2021.11	1
2021.11	1	2022.04	1
2021.12	1	2022.05	1
2022.03	1	2022.06	1
2022.04	2	2023.03	3
2022.05	3	2023.04	2
2022.06	2	2023.05	11
2022.07	2	2023.06	6
2022.08	3	2023.07	4
2022.09	2	2023.08	11
2022.10	2	2023.09	5
2022.11	2	2023.10	2
2022.12	4	2023.12	2
2023.01	8	2024.02	1
2023.02	3	2024.10	1
2023.03	6	2024.12	1
2023.04	6		
2023.05	1		
2023.06	2		
2023.09	1		

(C8) 就職活動のため、大学の授業や試験を休んだ回数は延べ何回ですか。思い当たる範囲で結構ですので、授業の回数（コマ数）でお書き下さい。

1. 0～5回
2. 6～10回
3. 11～30回
4. 31回以上

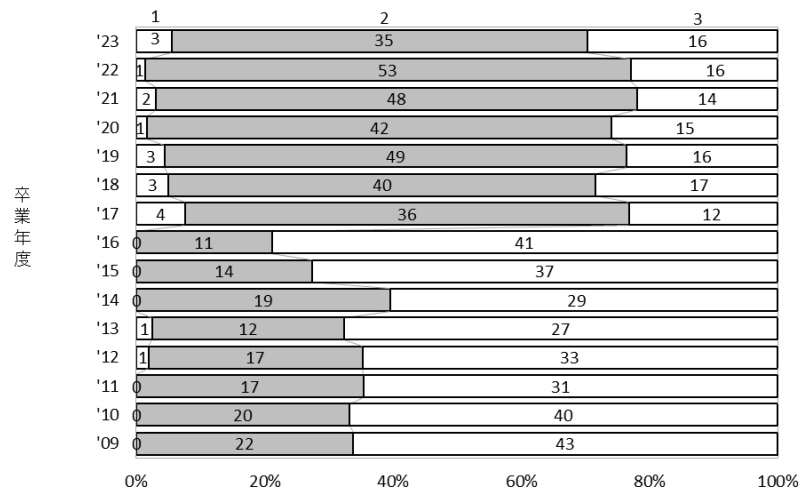
2020年度以降は「0～5回」が80%以上を占めているが、徐々に減っている。コロナ禍が終わって、企業のweb面接が減ったかもしれない。今後の動向を注視する必要がある。



(C9) 企業等からの求人で学部やコースからの推薦を依頼されることがありますが、この推薦枠を利用されましたか。

1. 推薦枠を利用した
2. 推薦枠を利用しなかった
3. 知らなかった

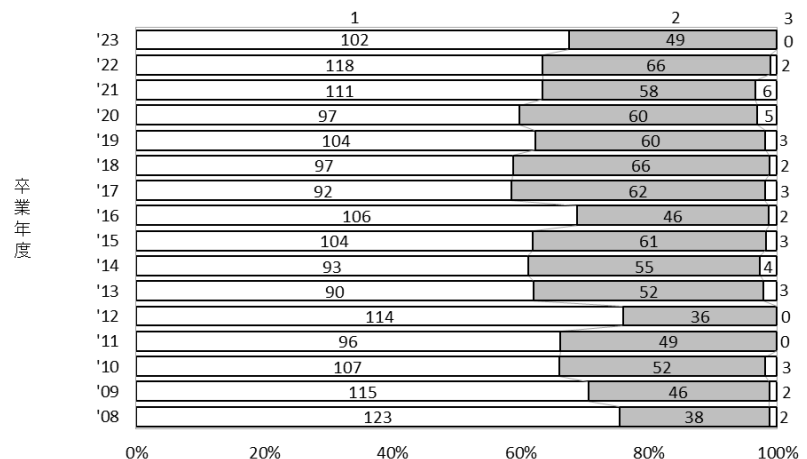
例年、「推薦枠を利用した」が数人しかいないのは問題である。2017年度以降は「利用しなかった」が約70%を占めているが、「知らなかった」が約30%いることから、周知が必要である。



(C10) 現在、3年次を対象とした進路説明会は行っていますが、大学院進学希望者への学部全体での説明会は行っていません。大学院進学に向けての説明会はあった方がいいですか。

1. あった方がよい
2. なくてもよい
3. その他

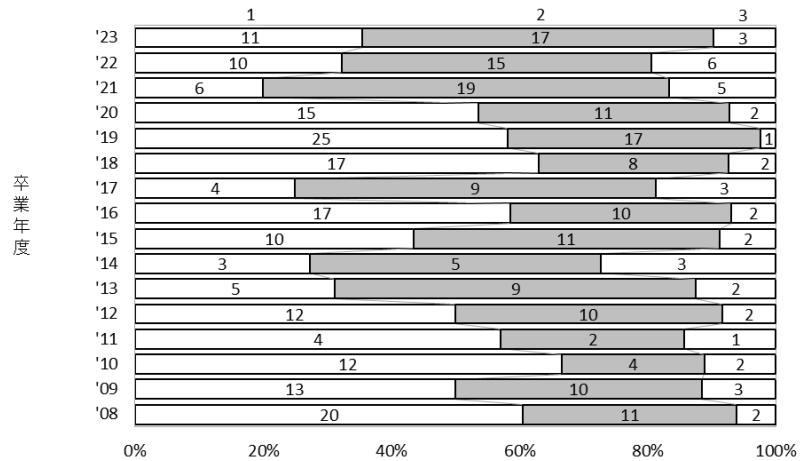
例年、「あった方がよい」が60～70%を占めている。時期や内容を含め、開催を検討することが望まれる。



(C11) 学外特別演習（インターンシップ）を履修した方にお聞きします。卒業後の進路を決める上で役立ちましたか。

1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった

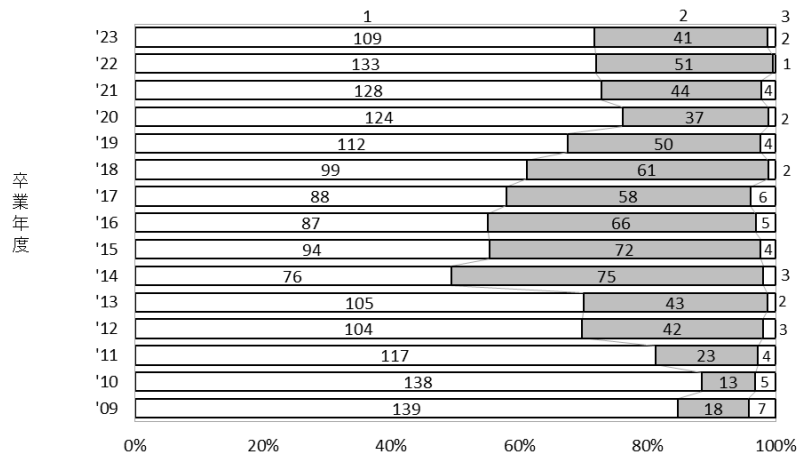
2021年度以降、「役立った」は20～30%と少ない。コロナ禍の影響が考えられるが、それ以前に少ない年もあり、経年変動が大きい。



(C12) 理学概論を開講し，2年次に理学が企業などの管理職などでどのように活用されているかを学ぶ機会を設けています。このような科目は必要だと思いますか。

1. あった方がよい
2. なくてもよい
3. その他

「あった方がよい」は2014年度まで減っていたが、それ以降は徐々に増え、近年は約70%を占めている。キャリア選択に役立っていると考えられ、この科目が必要であることが分かる。



(C13) その他，大学院進学や就職に関して希望することもしくは意見があれば自由に記述して下さい。

意見など： 4件

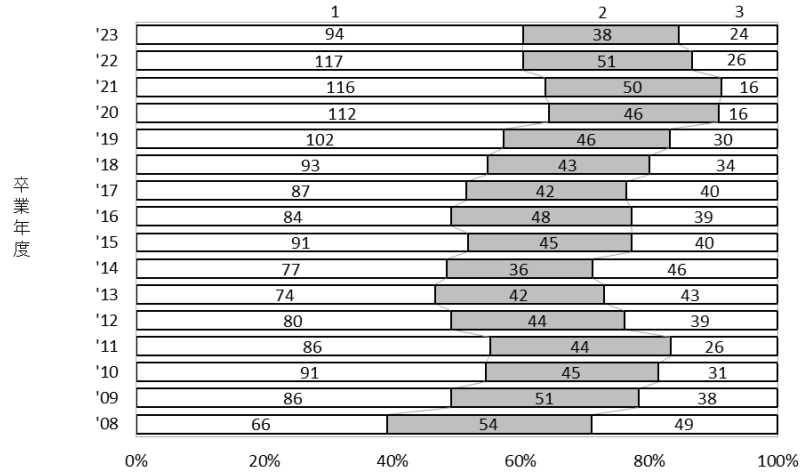
大学院進学や大学の情報を発信すべき，教職用の時間割に対するフィードバックがほしい，理学概論でキャリアアロードマップがあるとよい，などの要望があった。

D. 学習環境について

(D1) 自主的に学習できる場所や施設は十分ですか。

1. 十分
2. どちらとも言えない
3. 不十分

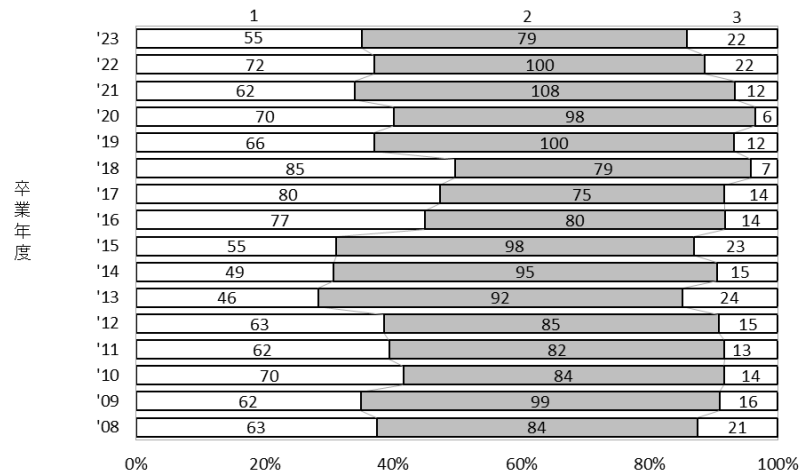
「十分」が徐々に増えて、近年は約60%を占めている。「不十分」は20%より少ないが、理学部2号館1階の小講義室が自習の場として解放されていることを周知すべきである。



(D2) 本学の中央図書館や理学部の図書室を利用しましたか。

1. よく利用した
2. 時々利用した
3. あまり利用しなかった

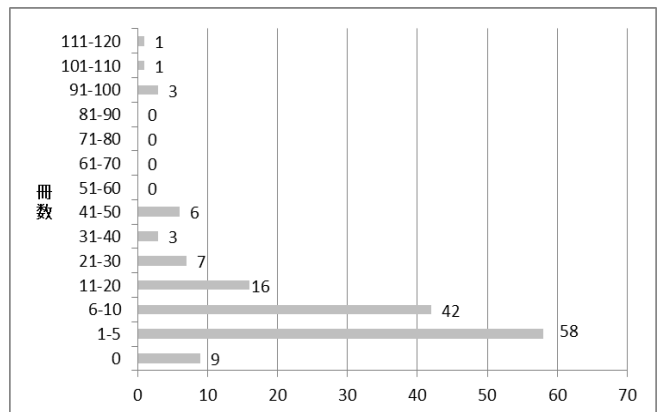
例年、「よく利用した」と「時々利用した」を合わせて約90%を占めている。図書館や図書室がよく利用されていることが分かる。



(D3) 大学4年間に教科書以外の専門書をどれくらい読みましたか。冊数で答えて下さい。

回答数(冊数): 146件

10冊以下が大半を占めている。ネット上の情報を利用し、専門書を読まないのかもしれない。講義でおもしろい専門書を紹介するなどしてもよい。

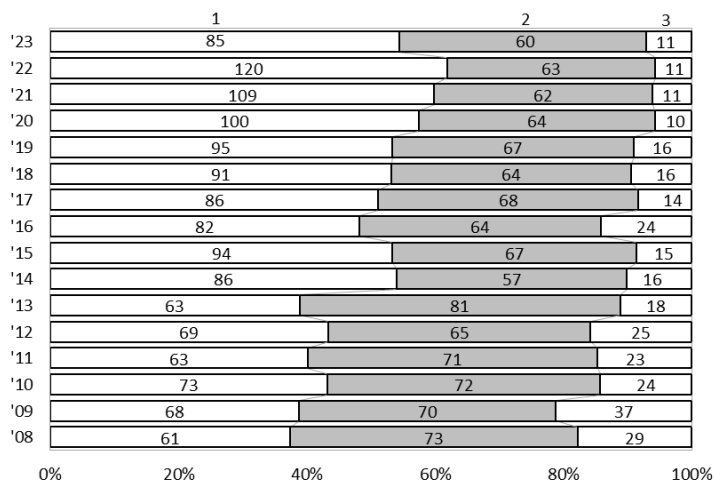


(D4) 本学の中央図書館や理学部の図書室の専門図書は充実していると思いますか。

1. はい
2. どちらとも言えない
3. いいえ

近年では「はい」が約50%に増えており、「いいえ」は10%より少ない。専門図書は充実していると捉えられているようである。

卒業年度

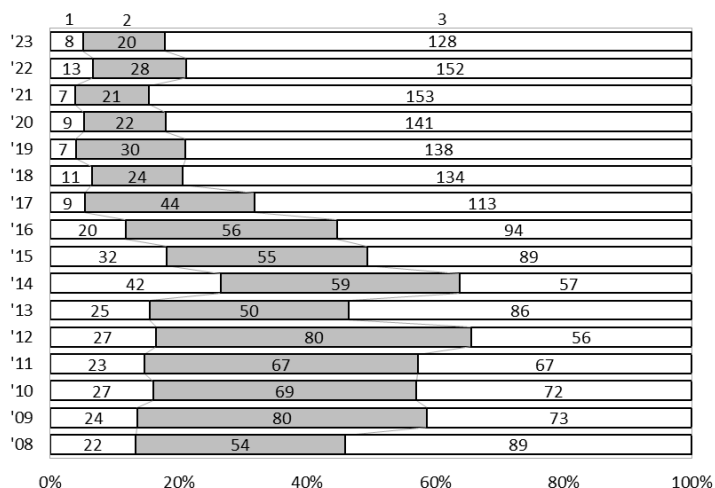


(D5) 理学部の計算機室は利用しましたか。

1. よく利用した
2. 時々利用した
3. あまり利用しなかった

「あまり利用しなかった」が増えており、2018年度以降は約80%を占めている。コロナ禍で教室利用が制限されたこととともに、遠隔授業に参加するためにPCの入手がほぼ必須となったことで利用者が減少していると考えられる。現在、新入生はPC必携とされているので（大学からの貸し出しもあり）、特定の授業以外の利用はさらに減少していくと考えられる。

卒業年度



(D6) 自主的な学習環境として必要なものがあれば、挙げて下さい。

回答数（必要なもの）： 32 件

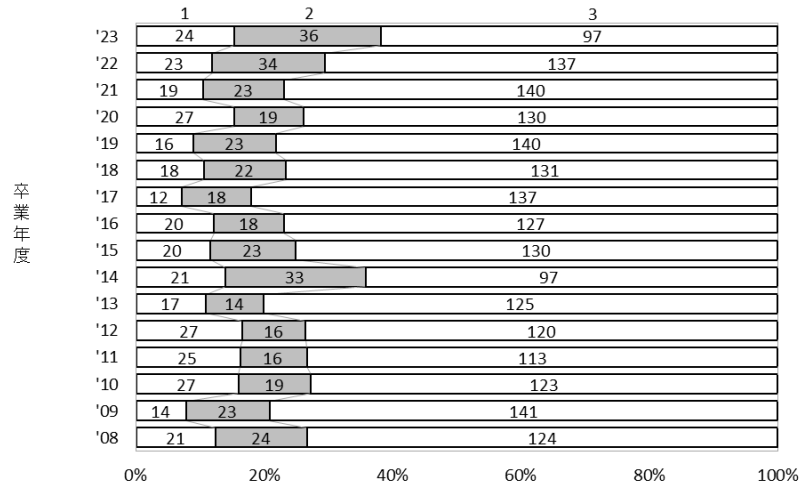
自習スペース（夜遅くや24時間利用可能な自習スペースの設置を要望する意見もあり）が多数あった。理学部2号館1階の小講義室を自習室として開放していることの周知が必要である。

E. 学生生活について

(E1) 学生生活に関して担任やチューターに相談したことがありますか。

1. 2回以上
2. 1回
3. ない

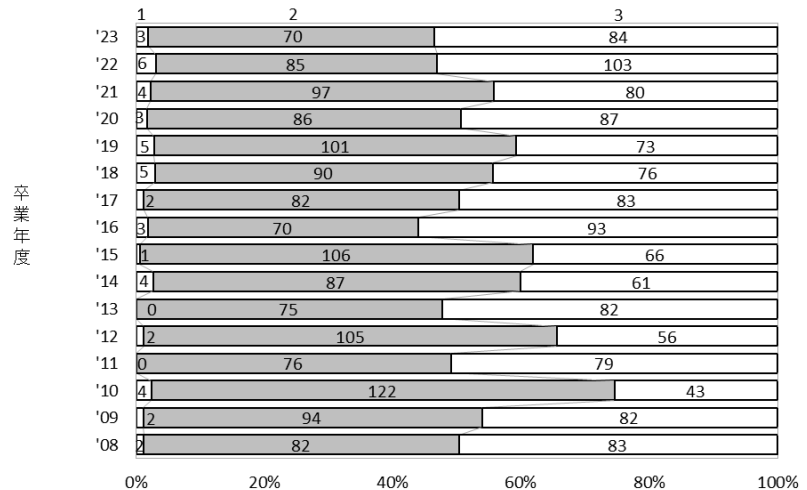
例年、「1回」と「2回以上」を合わせて約30%あるが、2023年度は約40%と多かった。2年次までの学生の相談窓口としての役割を果たしている。「ない」が約70%と多く占めており、相談する問題がないのはよいことである。



(E2) 学部長へのダイレクトメールについて

1. 利用したことがある
2. 今まで利用したことはない
3. 知らなかった

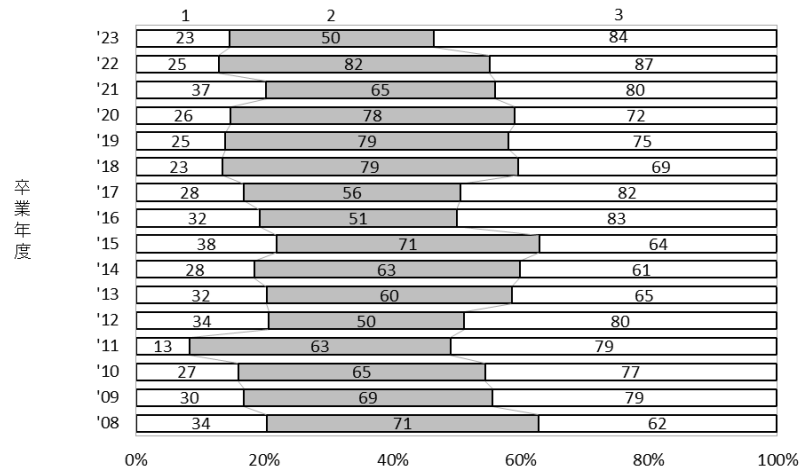
「知らなかった」が約50%あり、もっと周知すべきである。ただし、「利用したことがある」は10人未満であり、「利用したことがない」が約50%を占めている。周知しても利用しない可能性が大きい。



(E3) 合宿研修，七夕祭り，球技大会など各種イベントに興味がありましたか。

1. 大いにあった
2. 少しあった
3. あまりなかった

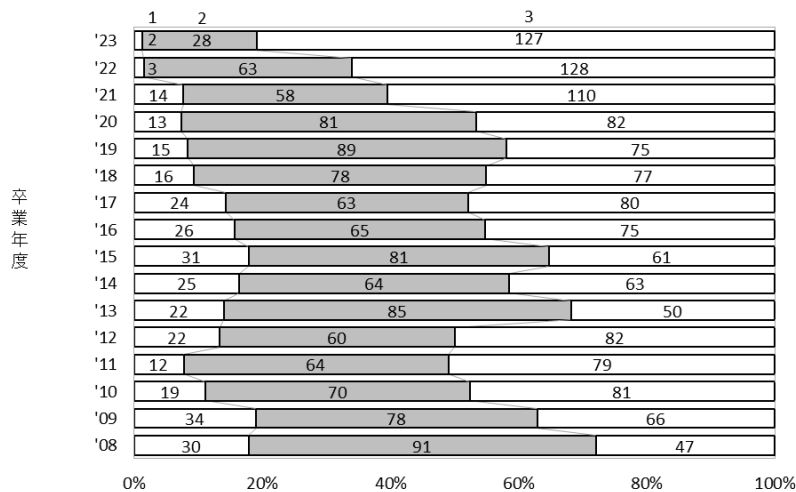
例年、「大いにあった」と「少しあった」を合わせて50~60%を占めている。興味がない学生が多いことが分かる。



(E4) 七夕祭りや球技大会に参加しましたか.

1. 3回以上参加した
2. 1～2回参加した
3. 参加したことはない

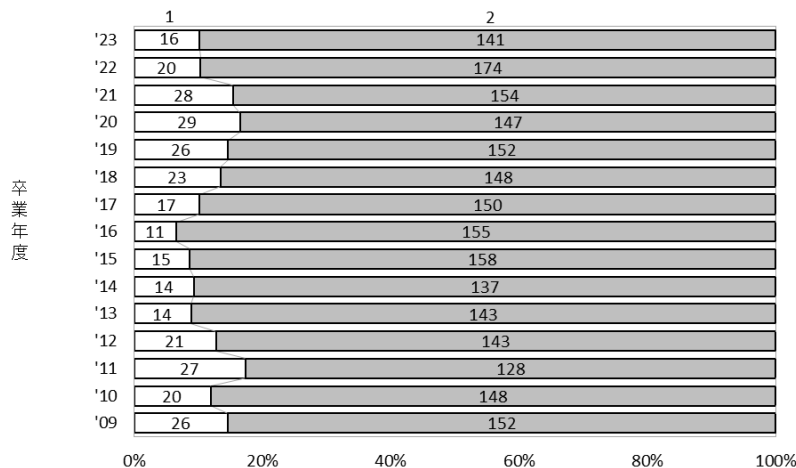
2020年度以降は「参加したことはない」が増えており、2023年度は約80%を占めている。コロナ禍でそもそもイベントが少なかったためであろう。



(E5) 学生自治会の活動について

1. 知っている
2. 知らない

例年、「知らない」が約90%を占めている。周知して、関心を高める必要がある。



(E6) イベントに参加して、感想や意見があれば、自由に記述して下さい。

回答数 (感想や自由記述) : 14 件

コロナ禍でそもそもイベントが少ない学年であった。復活を希望する意見もあり、学生たちにとっては有意義な機会であることがわかる。こうしたイベントは、できるだけ早く再開できるように検討すべきである。

(E7) 他に実施してほしいイベントがあれば、自由に記述して下さい。

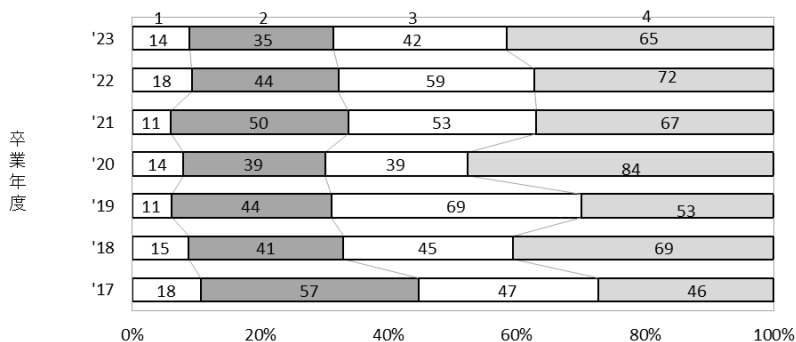
回答数 (希望するイベント) : 4 件

コロナ禍でもできる代替案や掲示板の充実、先輩と交流できるイベントを希望している。

(E8) 在学中は、学生生活を続けていく上で、経済的な問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

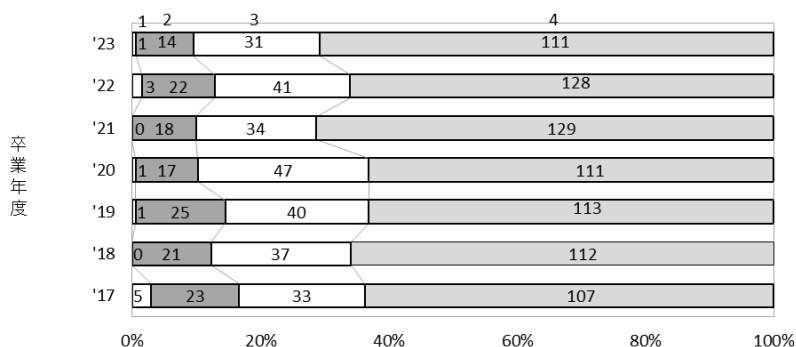
例年、何らかの問題があった（1～3）が約60%を占めている。原因の特定や経済的な支援など、検討を要する問題である。



(E9) 在学中は、教員や学生との人間関係で問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

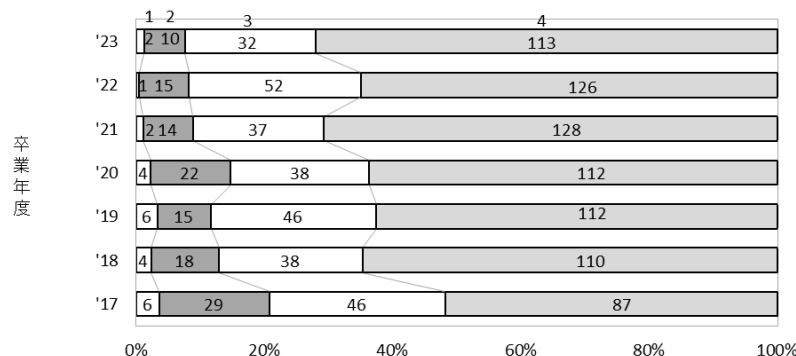
例年、何らかの問題があった（1～3）が30～40%あった。原因の特定等、検討を要する問題である。



(E10) 在学中は、住居の条件や環境に問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

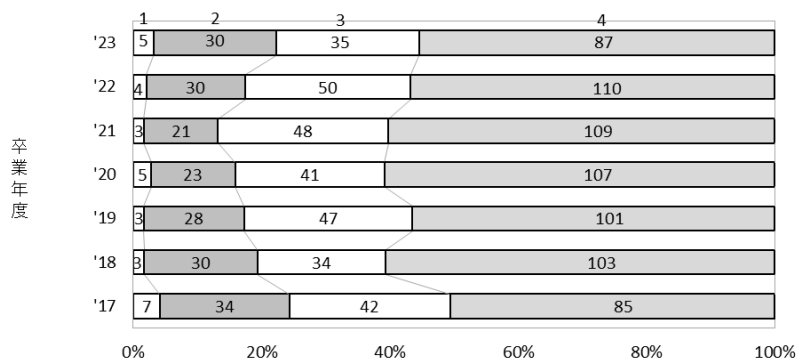
例年、何らかの問題があった（1～3）が30～40%あった。原因の特定等、検討を要する問題である。



(E11) 学生生活を続けていく上で健康面に問題がありましたか.

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

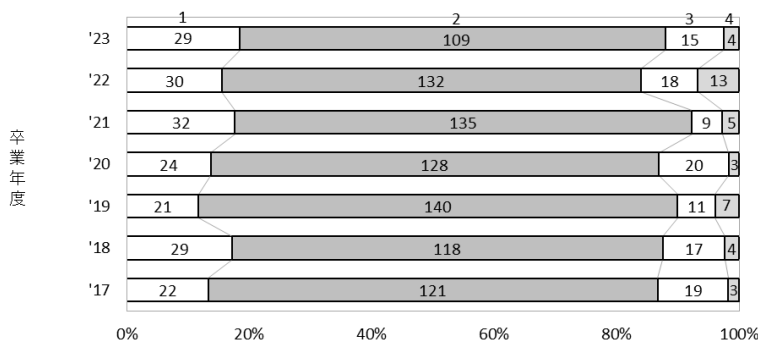
例年, 何らかの問題があった (1~3) が40~50%あった. 学生相談室や保健センター等に相談するよう指導が必要である.



(E12) 健康相談の体制には満足できましたか.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である

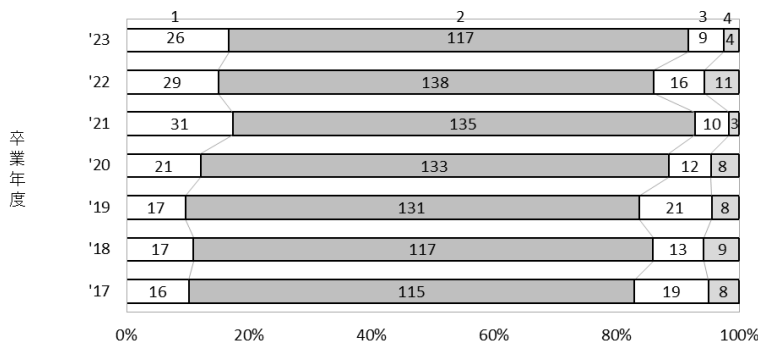
例年, 「大いに満足」と「満足」を合わせて80%を超えている.



(E13) 各種ハラスメント相談の体制には満足できましたか.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である

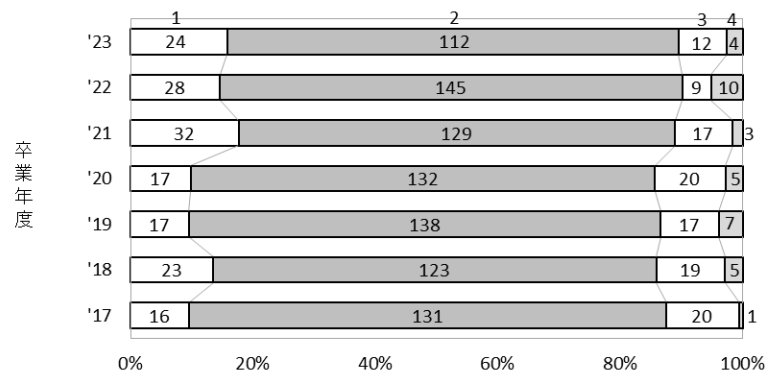
例年, 「大いに満足」と「満足」を合わせて80%を超えている. 「不満足」と「大いに不満足」も10~20%あるので, 相談体制を改善する必要がある.



(E14) 授業・学習支援・生活支援を含む熊本大学の学習環境全体の満足度についてお聞きします。

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である

例年、「大いに満足」と「満足」を合わせて80%以上を占めており、満足度が高いことが分かる。



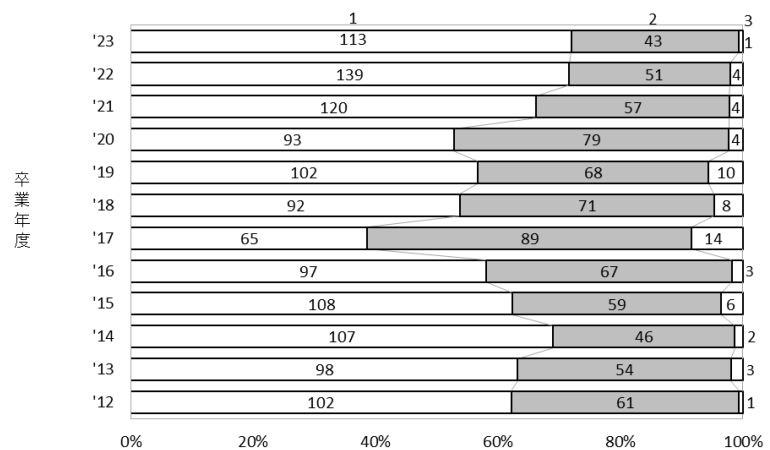
F. 授業改善アンケートおよびシラバスについて

シラバスについてお聞きします。

(F1) シラバスは良く読みましたか。

1. 良く読んだ
2. 真剣には読まなかった
3. 見ていない

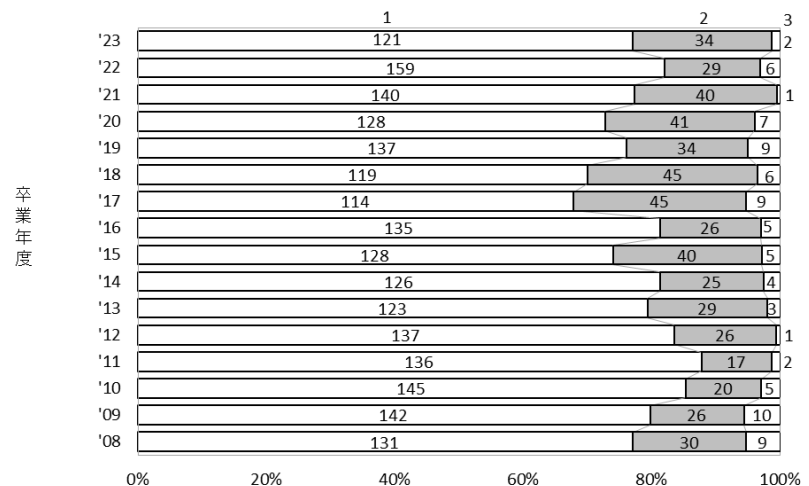
「よく読んだ」が増えており、近年は約70%を占めている。



(F2) 履修する科目を選択する際にシラバスは役立ちましたか。

1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった

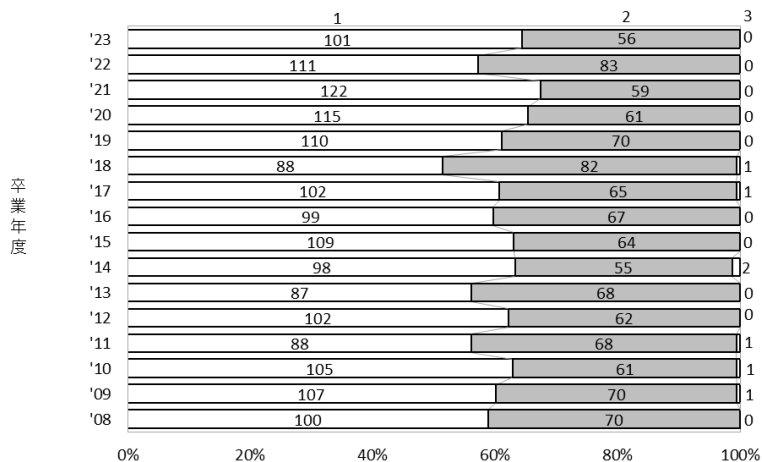
例年、「役立った」が約80%を占めており、「役立たなかった」は非常に少ない。シラバスの必要性が示された。



(F3) 成績評価の方法はシラバスに明確に記述して欲しいですか。

1. 記述して欲しい
2. 今の程度でよい
3. その他

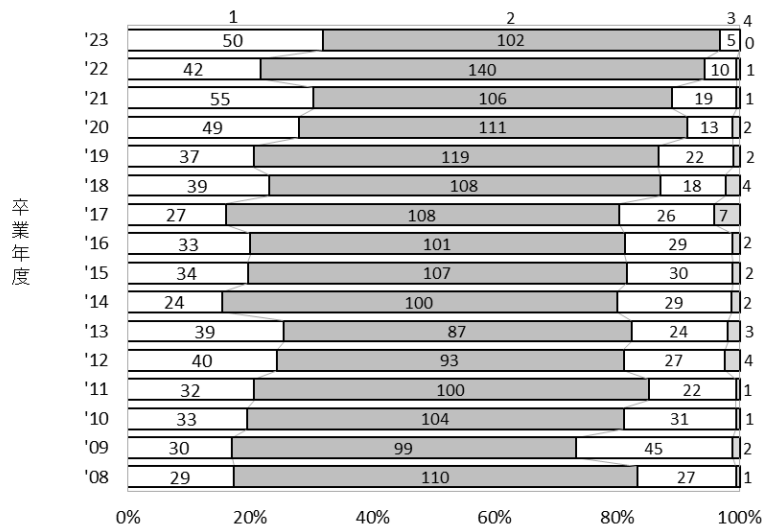
例年、「記述して欲しい」が60%以上を占めている。シラバスのチェック項目なので、全ての科目で記載されているはずである。



(F4) 全体的に、シラバスに記載された方法で厳格な成績評価が行われていると思いますか。

1. 行われている
2. 多くの科目で行われている
3. あまり行われていない
4. その他

例年、「行われている」と「多くの科目で行われている」を合わせて80~90%を占めており、適切に行われていることが分かる。

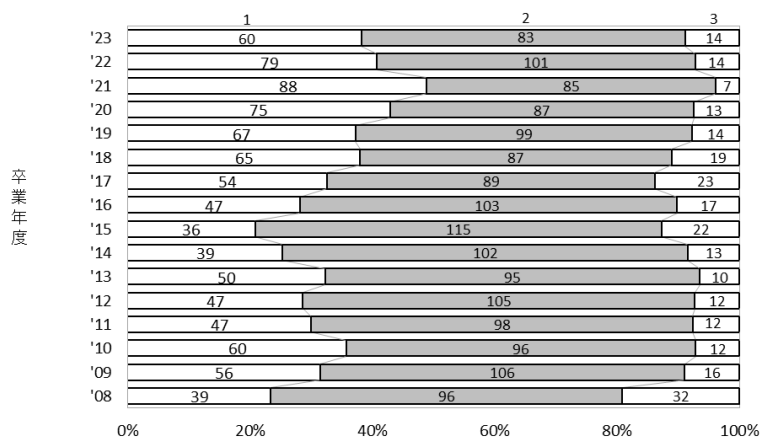


「授業改善のためのアンケート」についてお聞きします

(F5) アンケートの目的は理解していますか。

1. 十分理解している
2. ほぼ理解している
3. よくわからない

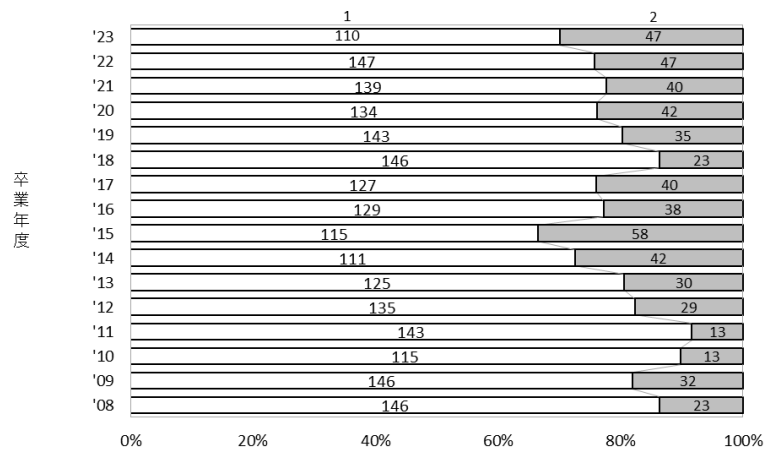
例年、「十分理解」と「ほぼ理解」を合わせて約90%を占めており、適切に行われていることが分かる。



(F6) アンケートの回答に積極的に協力しましたか.

1. はい
2. いいえ

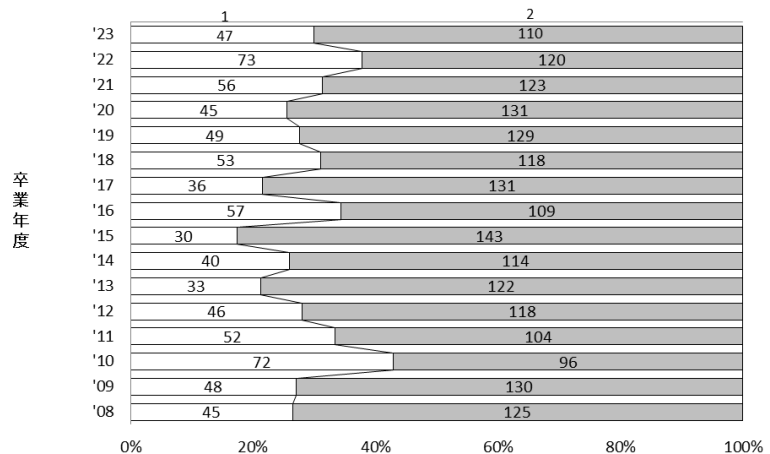
例年、「はい」が約80%を占めており、適切に行われていることが分かる.



(F7) Web 上での教員のコメントは読みましたか.

1. はい
2. いいえ

例年、「はい」は約30%と少なく、あまり読まれていないことが分かる.



G. その他

(G1) 理学部理学科について、あなた自身がよいと評価できる点や改善が必要であると考える点について自由に記述して下さい.

回答数： 55 件

様々な意見があったが、その中で重要と思われる指摘や意見を列記する.

1, 2年次に幅広い分野の知識を身に付け、3年次にコースを選択する現在のシステムに対しては、肯定的、好意的な意見が多かった. 来年度以降、コース選択が2年後期に移行されることから、今後のアンケート結果の動向を精査して、状況によってはカリキュラムの再検討が必要であろう. その他、英語の授業が少ない、教職科目が多い、遠隔授業で動画が少ない、などの指摘があった.